

Optical Disc Archive File Manager2

ヘルプ

ODS-FM2

概要

ODS-FM2 は、オプティカルディスクアーカイブシステムでアーカイブやリトリブを行うためのソフトウェアです。

ODS-L10 や ODS-L30M を使用したシステムのほか、サーバーにドライブユニットを直接接続して使用することもできます。

ODS-FM2 では、オプティカルディスクアーカイブシステムに挿入されているカートリッジだけでなく、棚管理を行っているカートリッジについても管理できます。

File Manager モード

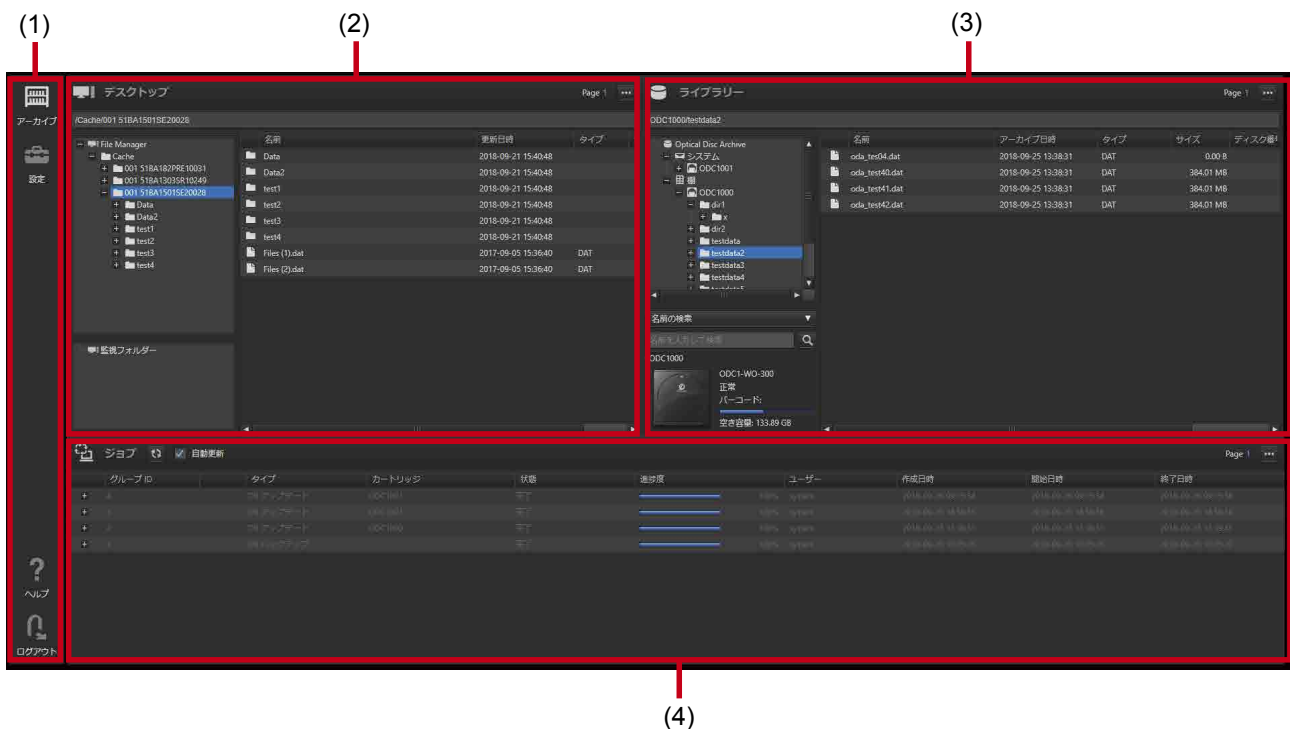
本セクションでは、File Manager モードの各画面と操作の説明をしています。

- アーカイブ画面
- アーカイブする
- フォルダを監視してアーカイブする
- リトリブする
- ファイルのメタデータを表示 / 編集する
- カートリッジの情報を削除する
- カートリッジ内のファイル / フォルダを削除する
- カートリッジを複製する
- ライブラリーを一括複製する
- ネットワークパスを追加する

アーカイブ画面

アーカイブやリトリブなどの操作を行います。

アーカイブ画面は、次の各部から構成されます。



共通の操作

ツリーエリア (デスクトップ / ライブラリエリアの左側)

- 複数選択はできません





リストエリア (デスクトップ / ライブラリエリアの右側、ジョブエリア、[プレースホルダー] ダイアログ)

操作方法は、エクスプローラー (Windows) や Finder (macOS) と同じです。

- Shift キー、Ctrl キー (Windows)、Command キー (macOS) を押しながら選択することで、複数選択できます。
- Ctrl+A (Windows)、Command+A (macOS) で全選択できます。

(1) グローバルメニュー

アイコンをクリックして、画面を移動します。

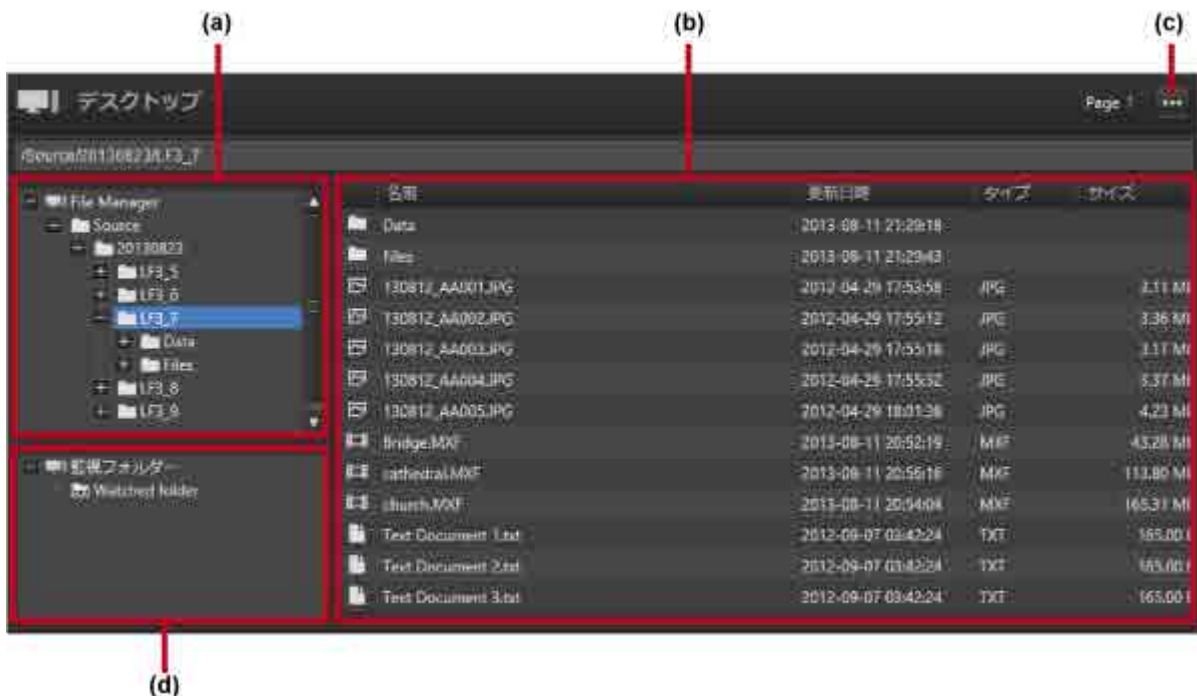
-  (アーカイブ) : アーカイブ / リトリブを行うアーカイブ画面を表示する。
-  (設定) : 設定画面を表示する。
-  (ヘルプ) : ヘルプおよびバージョン情報を表示する。
-  (ログアウト) : ログアウトする。

(2) デスクトップエリア

ローカルコンピュータやネットワーク上のコンピュータのフォルダーやファイルを表示します。

アーカイブ時には、アーカイブするファイルを選択します。リトリブ時には、リトリブするファイルの保存先を選択します。

デスクトップエリアには、設定画面の「アーカイブ」ページ「ベースパス」で設定したフォルダー（ベースパス）とその下にあるフォルダー / ファイルが表示されます。



(a) ツリーエリア

ベースパスとその下にあるフォルダーを表示します。

ツリー表示のフォルダーをクリックすると、そのフォルダー以下の表示を最新の状態に更新します。

(b) リストエリア

ファイル / フォルダーリストには、次の内容を表示します。

- 名前：ファイル/フォルダー名
- 更新日時：最終更新日時
- タイプ：ファイルの拡張子
- サイズ：ファイルのサイズ


監視フォルダーエリアで「監視フォルダー」を選択した場合は、監視フォルダーの情報が表示されます。

(c) プルダウンメニュー

⋮をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューには、次のメニューがあります。

- プレースホルダーを開く：プレースホルダーダイアログを開きます。プレースホルダーは、異なるフォルダーにあるファイルやフォルダーを一括してアーカイブする場合に、一時的にファイル/フォルダーを保持する仮想フォルダーです。
- 監視を停止：フォルダーを監視してアーカイブしている場合に、監視を停止します。
- フォルダー作成：ツリーエリアで選択しているフォルダーまたはドライブに新規フォルダーを作成します。
- 上へ：一つ上の階層のフォルダーへ移動します。
- フォルダーを開く：リストエリアで選択しているフォルダーを開きます。

(d) 監視フォルダー

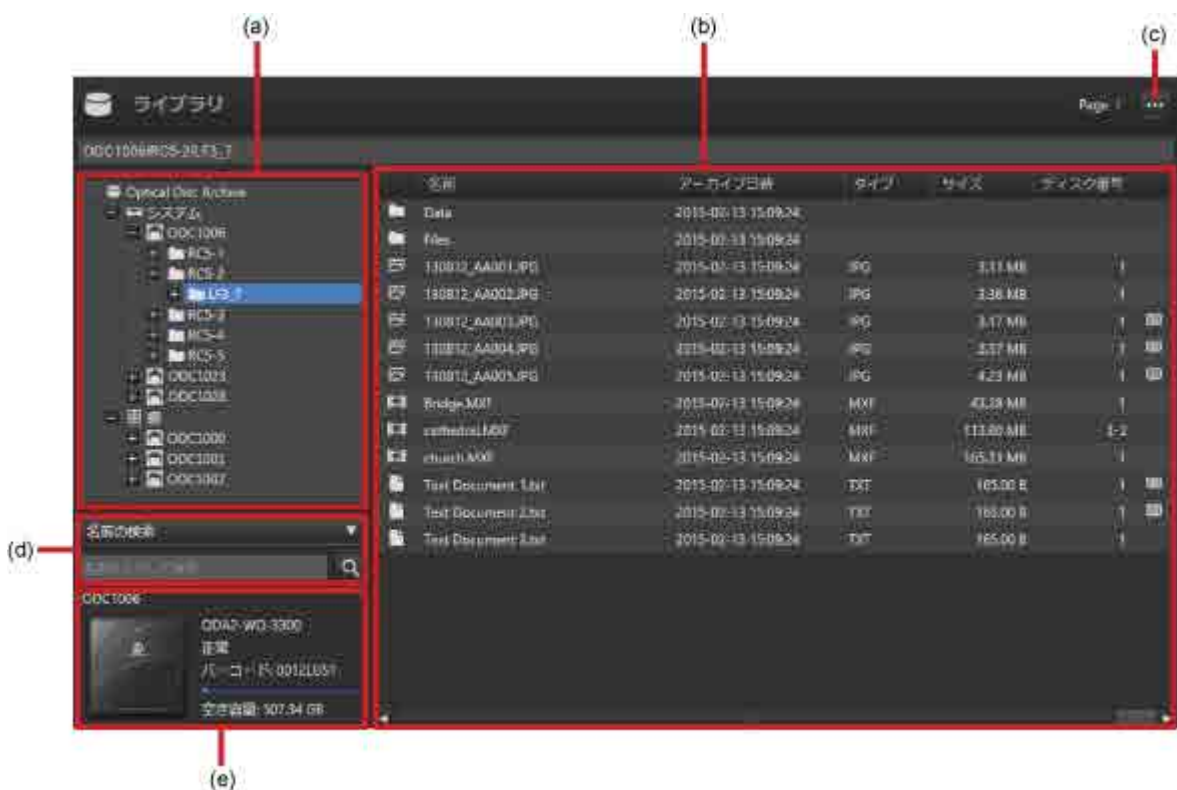
監視フォルダーとして設定されているフォルダーの一覧が表示されます。フォルダーを選択して、ライブラリエリアにドラッグ&ドロップすると、監視を開始します。監視中は、フォルダーアイコンがに変わります。

(3) ライブラリエリア

カートリッジにアーカイブされたファイルおよびフォルダーの一覧を表示します。

アーカイブ時には、ファイルの格納先を選択します。リトリブ時には、取り出すファイルを選択します。

ライブラリエリアには、オプティカルディスクアーカイブシステムにいま挿入されているカートリッジだけでなく、挿入したことのあるカートリッジすべてが表示されます。



(a) ツリーエリア

カートリッジおよびカートリッジ内のフォルダーをツリー表示します。システムフォルダーと棚フォルダーが表示され、その下にカートリッジが表示されます。



システムフォルダーには、オプティカルディスクアーカイブシステムに挿入されているカートリッジが表示されます。

棚フォルダーには、管理棚などオプティカルディスクアーカイブシステムの外で保存されているカートリッジが表示されます。棚フォルダーのカートリッジに対しても、アーカイブ/リトリブができます。

ツリー表示のフォルダーをクリックすると、そのフォルダー以下の表示が最新の状態に更新されます。

(b) リストエリア

カートリッジ内のファイル/フォルダーが一覧表示されます。次の内容が表示されます。

- システム / 棚アイコン：検索時のみ表示。ファイルがオプティカルディスクアーカイブシステム内にあるときは  アイコンが、ファイルが棚にあるときは  アイコンが表示されます。

- ファイルタイプアイコン
- 名前：ファイル名
- アーカイブ日時：アーカイブされた日時
- タイプ：ファイルの拡張子
- ディスク番号：ファイルが書き込まれているディスクの番号
- サイズ：ファイルサイズ
- メタデータアイコン：メタデータの有無



：メタデータ有り

アイコン無し：メタデータ無し

- アーカイブアイコン：アーカイブ状態
アイコン無し：アーカイブ済み（この場合のみリトリブ可能）



：アーカイブ中




：アーカイブ中にエラー発生



：ファイルの状態をチェック中

(c) プルダウンメニュー


 をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューには、次のメニューがあります。

- メタデータ編集：[メタデータ編集] ダイアログを表示し、選択したファイルまたはフォルダーのメタデータを表示、編集します。
- カタログデータ出力：ツリーエリアまたはカートリッジエリアで選択しているカートリッジの中のファイルの一覧を、CSV フォーマットで出力します。
- 削除：棚にあるカートリッジを選択した場合は、選択したカートリッジの情報を削除します。オプティカルディスクアーカイブシステムにあるカートリッジ内のファイルまたはフォルダーを選択した場合は、選択したファイルまたはフォルダーを削除します。棚にあるカートリッジ内のファイルは削除できません。
- フォルダー作成：ツリーエリアで選択しているフォルダーまたはカートリッジに新規フォルダーを作成します。
- 上へ：一つ上の階層のフォルダーへ移動します。
- フォルダーを開く：リストエリアで選択しているフォルダーを開きます。

- ファイルの場所を開く：リストエリアに検索結果が表示されているときに、選択しているファイルがあるフォルダーを開きます。

(d) 検索エリア

操作対象とするカートリッジを検索します。

1. ツリーエリアで検索対象のカートリッジやフォルダーを選択する。
2. リストボックスで検索タイプを指定する。
 - 名前の検索：入力したキーワードを名前に含むファイルおよびフォルダーを検索します。
 - ファイルの検索：入力したキーワードを名前に含むファイルを検索します。
 - フォルダーの検索：入力したキーワードを名前に含むフォルダーを検索します。
 - すべて：入力したキーワードを名前またはメタデータの値に含むファイルおよびフォルダーを検索します。
 - (メタデータのタイトル)：選択したメタデータの値に、入力したキーワードを含むファイルおよびフォルダーを検索します。
3. 検索キーワードを入力する。
 「名前の検索」、「ファイルの検索」、または「フォルダーの検索」を選択した場合は、ファイル名またはフォルダー名の一部を入力します。
 メタデータのタイトルを選択した場合は、メタデータの値を入力します。
 「すべて」を選択した場合は、ファイル名、フォルダー名、またはメタデータの値の一部を入力します。
4.  ボタンをクリックする。
 検索結果がリストエリアに表示されます。

(e) カートリッジ表示

選択したカートリッジの情報を表示します。次の内容を表示します。

- カートリッジ名
- カートリッジの種別
 - ODC1-RE-300
 - ODC1-RE-600
 - ODC1-RE-1200
 - ODC1-WO-300
 - ODC1-WO-600
 - ODC1-WO-1500
 - ODC2-WO-3300
 - ODC3-WO-5500
- カートリッジの状態（正常、読み取り専用、エラー、チェック中、フォーマット中、ファイナライズ中、複製中、取り出し中）
- カートリッジのバーコード
- カートリッジの空き容量（バーでも表示されます）

ご注意

カートリッジの状態によっては、表示される容量と実際に使用できる容量が異なる場合があります。

(4) ジョブエリア

アーカイブ、リトリブなどのジョブが一覧表示されます。

一度の操作で複数のファイルやフォルダーをアーカイブ / リトリブした場合、1つのジョブグループとなります。ジョブグループ内で行われる1つのファイルの処理が、1つのジョブとなります。ジョブエリアにはジョブグループが表示され、ジョブグループの+マークをクリックすると、各ジョブが表示されます。

登録されたジョブは、バックグラウンドで実行されます。ジョブの実行順序は、登録順とは異なる場合があります。

ジョブがカートリッジ交換待ちの場合、またはジョブが失敗した場合は、ジョブがハイライト表示されます。

ジョブリストでは、ジョブのキャンセルはできますが、実行順序を変更することはできません。



ボタンをクリックすると、表示を最新の状態に更新します。



プルダウンメニュー



をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューには、次のメニューがあります。

- 一時停止：選択したジョブまたはジョブグループの処理を一時停止します。
- 再開：選択したジョブまたはジョブグループの処理を再開します。
- 中止：選択したジョブまたはジョブグループの処理を中止します。
- 再登録：選択したジョブグループ内の失敗またはキャンセルしたジョブを再登録します。
- 条件を変更して再登録：条件を変更してジョブを再登録することができます。すべてのジョブまたは、失敗したジョブのみを再登録することができます。アーカイブ先またはリトリブ先を変更することができます。
- ジョブレポートの表示：ジョブが失敗、停止、一時停止したときに、選択したジョブグループ内のジョブに対するレポートを表示します。
- ジョブレポートの出力：選択したジョブグループ内のジョブに対するレポートを、CSV フォーマットで出力します。
- 表示するカラム：ジョブリストに表示する項目を選択します。

ご注意



次の場合は、ジョブを中止できません。

- 管理者権限を持つユーザーが登録したジョブを一般ユーザー権限のユーザーが中止しようとした場合
- 既にキャンセルリクエスト済み (●マークが表示されている) ジョブの場合

ジョブリスト

ジョブリストの表示内容は次のとおりです。表示する項目は、プルダウンメニューの「表示するカラム」で変更できます。

- グループ ID：ジョブグループ ID

- ID : ジョブ ID
-  : 一時停止リクエストを受け付けたジョブ
-  : 中止リクエストを受け付けたジョブ
- タイプ : ジョブの種類
 - アーカイブ : アーカイブ
 - リトリブ : リトリブ（優先実行の指定がされたリトリブジョブには（*）が表示される）
 - モニター : フォルダ監視アーカイブ
 - 削除 : カートリッジ内のファイルの削除
 - カートリッジ削除 : データベース内のカートリッジ情報の削除
 - フォーマット : カートリッジのフォーマット
 - ファイナライズ : カートリッジのファイナライズ
 - ボリューム複製 : カートリッジのボリューム複製
 - ライトプロテクトオン : 書き込み禁止の設定
 - ライトプロテクトオフ : 書き込み禁止の解除
 - DB アップデート : カートリッジの内容を読み込んでカタログの内容を更新する
 - ビンオープン : ビンを開く
 - ビンクローズ : ビンを閉じる
 - カートリッジ取り出し : カートリッジを排出可能な状態にする
 - シャットダウン（高速） : スタンバイおよび実行中のジョブが終了後にサービスを終了する
 - シャットダウン（通常） : すべてのジョブが終了後にサービスを終了する
 - DB バックアップ : データベースのバックアップ
 - カートリッジ複製 : カートリッジの複製
- 名前 : ファイル名
- カートリッジ : カートリッジ名
- 状態 : ジョブの状態

ジョブの場合

- 登録済み : ジョブが登録され、実行開始を待っている。
- スタンバイ : ジョブが開始し、カートリッジをライブラリからドライブへ移動中。
- 実行中 : カートリッジをドライブで読み書きしている。進捗状況が「進捗度」に表示される。
- 完了 : ジョブが正常終了した。
- 失敗 : ジョブが異常終了した。
- キャンセル : ジョブがユーザーの指示でキャンセルされた。
- カートリッジ挿入待ち : カートリッジの挿入待ち。
- サスペンド : 一時停止中。

ジョブグループの場合

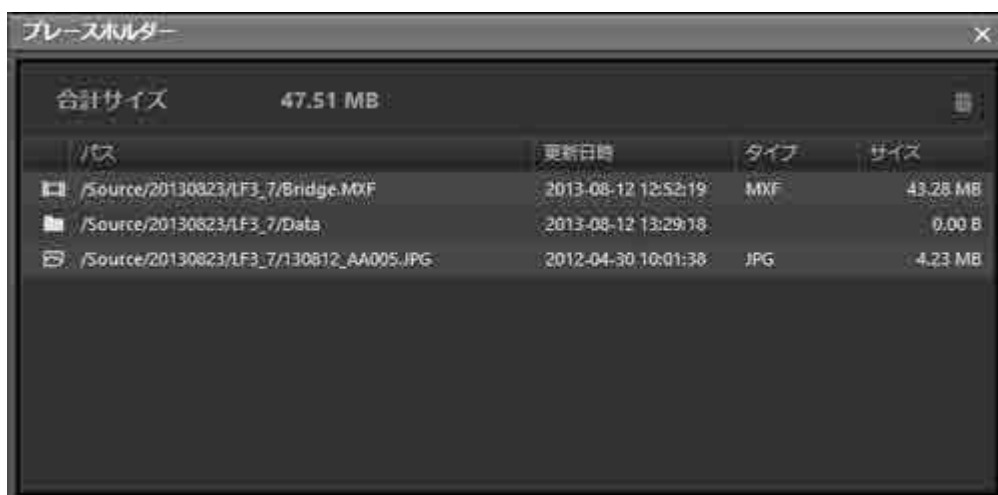
- ウエイティング : リクエストを受け付けてからジョブが投入されるまで。
- カートリッジ挿入待ち : グループ内のすべてのジョブがカートリッジ挿入待ちの状態になっている。
- 実行中 : グループ内に登録済み / スタンバイ / 実行中 / カートリッジ挿入待ちのジョブが含まれている。
- 部分完了 : グループ内に完了 / 失敗 / キャンセルのジョブが混在している。
- 完了 : グループ内のすべてのジョブが、完了の状態になっている。
- 失敗 : グループ内のすべてのジョブが、キャンセルまたは失敗の状態。

- キャンセル：グループ内のすべてのジョブがキャンセル状態。
- サスペンド：完了 / キャンセル / 失敗 / サスペンドのジョブが含まれている。
- 監視中：フォルダーを監視中。
- 進捗度：アーカイブまたはリトリブの進捗状況
- ユーザー：ジョブを登録したユーザーの ID
- 作成日時：ジョブを作成した（リクエストした）時刻
- 開始日時：ジョブの開始時刻
- 終了日時：ジョブの終了時刻

プレースホルダーダイアログ

プレースホルダーは、アーカイブ時にアーカイブするファイル / フォルダーを一時的に保持する仮想フォルダーです。プレースホルダーを使うことで、異なるフォルダーにあるファイルまたはフォルダーを一括でアーカイブできます。

プレースホルダーにファイルを入れるには、デスクトップエリアからドラッグ & ドロップします。



合計サイズ

プレースホルダーにあるファイルの総容量を表示します。



ボタン

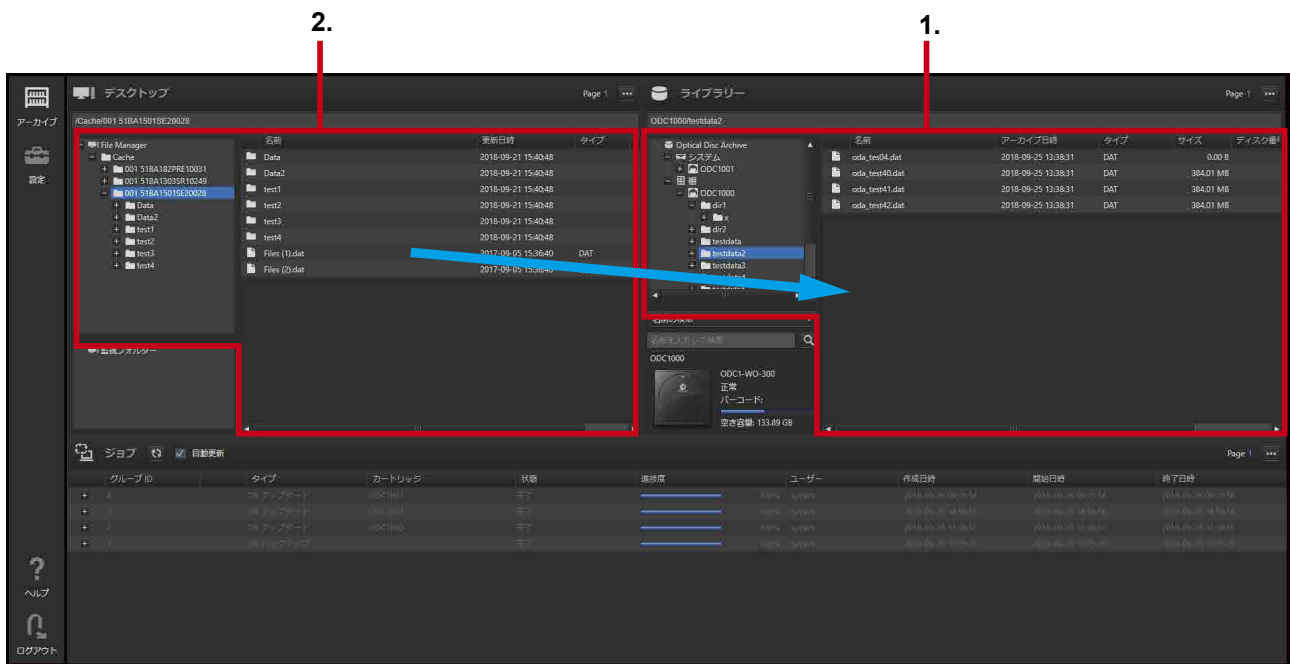
プレースホルダーで選択したファイルまたはフォルダーをプレースホルダーから削除します。

ファイルリスト

プレースホルダーにあるファイルのリストを表示します。リストには、次の内容を表示します。


- パス：ファイル / フォルダーのフルパス
- 更新日時：最終更新日時
- タイプ：ファイルの拡張子
- サイズ：ファイルのサイズ

アーカイブする



ご注意

ベースパスとして設定したフォルダー（デスクトップエリアのツリーエリアで「File Manager」の直下に表示されるフォルダー）はアーカイブできません。

1. アーカイブ画面のライブラリエリアで、ファイル／フォルダーを格納するカートリッジを表示させる。カートリッジのサブフォルダーにファイル／フォルダーを格納する場合は、サブフォルダーを表示させる。棚にあるカートリッジにもアーカイブをリクエストできます。アーカイブ実行時にカートリッジが棚にある場合は、グローバルメニューに  マークが表示され、マウスオーバーでカートリッジが挿入されていないことを通知するツールチップが表示されるので、カートリッジを挿入してください。アーカイブするファイル／フォルダーは、ライブラリエリアの次の場所にドラッグ＆ドロップすることができます。

- ツリーエリアのカートリッジまたはフォルダー
- リストエリア

ご注意

次の場合は、アーカイブができません。アーカイブのリクエスト時に下記の状態になっている場合は、警告メッセージが表示され、ジョブが登録されません。

- カートリッジの状態が、正常以外の場合
- システムの状態が動作中以外の場合
- アーカイブによってカートリッジの総容量を超える可能性がある場合
- 一度にアーカイブするファイル／フォルダーの数がカートリッジの最大ファイル数¹⁾より多い場合
- カートリッジ内のファイル／フォルダーの総数がカートリッジの最大ファイル数¹⁾を超える可能性がある場合

1) 最大ファイル数については、Optical Disc Archive Utility のヘルプをご覧ください。

2. デスクトップエリアで、アーカイブするファイルまたはフォルダーを選択する。

デスクトップエリアの次の場所を選択して、ドラッグ＆ドロップすることができます。

- ツリーエリアのメディアまたはフォルダー
- リストエリアのファイルまたはフォルダー

異なるメディアやフォルダーにあるファイル / フォルダーを一括でアーカイブする場合は、次の「異なるフォルダーにあるファイルをアーカイブする」をご覧ください。

3. 選択したファイルまたはフォルダーを、格納先のカートリッジまたはフォルダーにドラッグ & ドロップする。

[アーカイブリクエスト] ダイアログが表示されます。[アーカイブリクエスト] ダイアログでは、アーカイブするすべてのファイルに対して同じメタデータを追加することができます。

4. [アーカイブリクエスト] ダイアログでメタデータを追加し、[アーカイブ] ボタンをクリックする。

アーカイブのジョブがジョブエリアに登録され、実行されます。

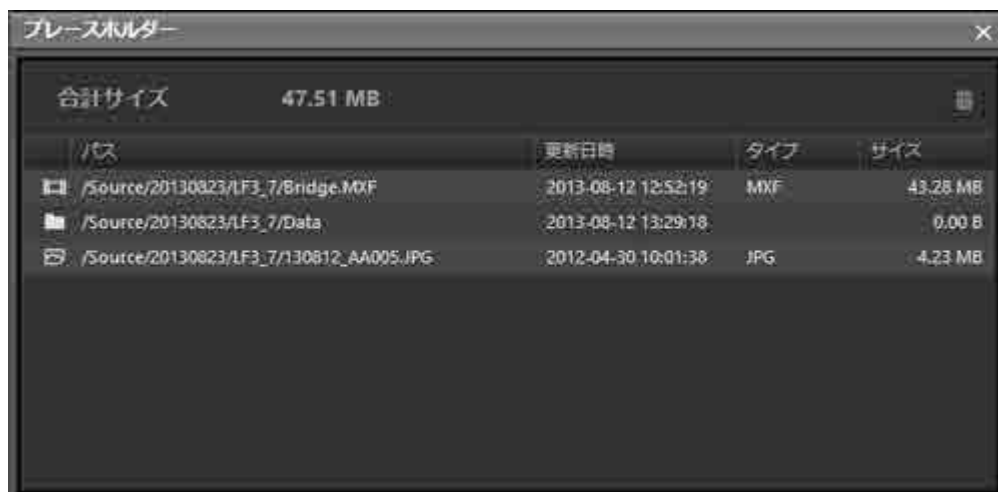
アーカイブ先のフォルダーに同名のファイルがある場合、確認のダイアログが表示され、ファイル名の末尾に (1)、(2) を付けてアーカイブするか、アーカイブをしないかを選択できます。

異なるフォルダーにあるファイルをアーカイブする

アーカイブしたいファイルが複数のフォルダーにある場合は、[プレースホルダー] ダイアログを使用します。

1. アーカイブ画面のライブラリエリアで、ファイル / フォルダーを格納するカートリッジを表示させる。カートリッジのサブフォルダーにファイル / フォルダーを格納する場合は、サブフォルダーを表示させる。
2. デスクトップエリアのプルダウンメニューで [プレースホルダーを開く] を選択する。

[プレースホルダー] ダイアログが表示されます。



3. アーカイブしたいファイルを、デスクトップエリアから [プレースホルダー] ダイアログにドラッグ & ドロップする。
4. [プレースホルダー] ダイアログ内のファイルまたはフォルダーを選択して、ライブラリエリアにドラッグ & ドロップする。
一部のファイルまたはフォルダーだけを選択してドラッグ & ドロップした場合は、選択したファイル / フォルダーだけがアーカイブされます。
5. [アーカイブリクエスト] ダイアログが表示されるので、必要に応じてメタデータを指定し、アーカイブを実行する。

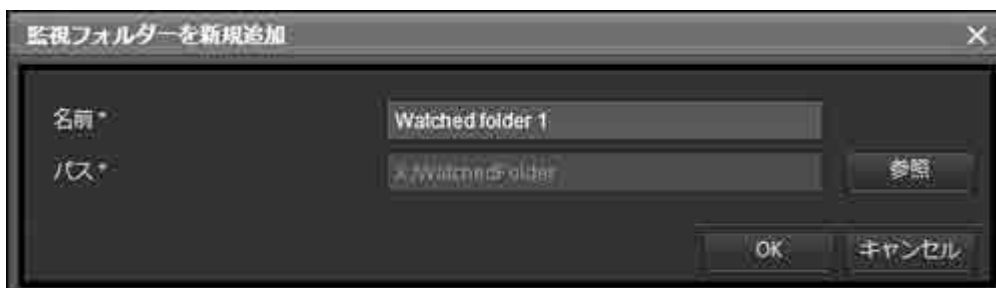
フォルダーを監視してアーカイブする


指定したフォルダーにコピーされたファイルを自動的にアーカイブします。

ご注意

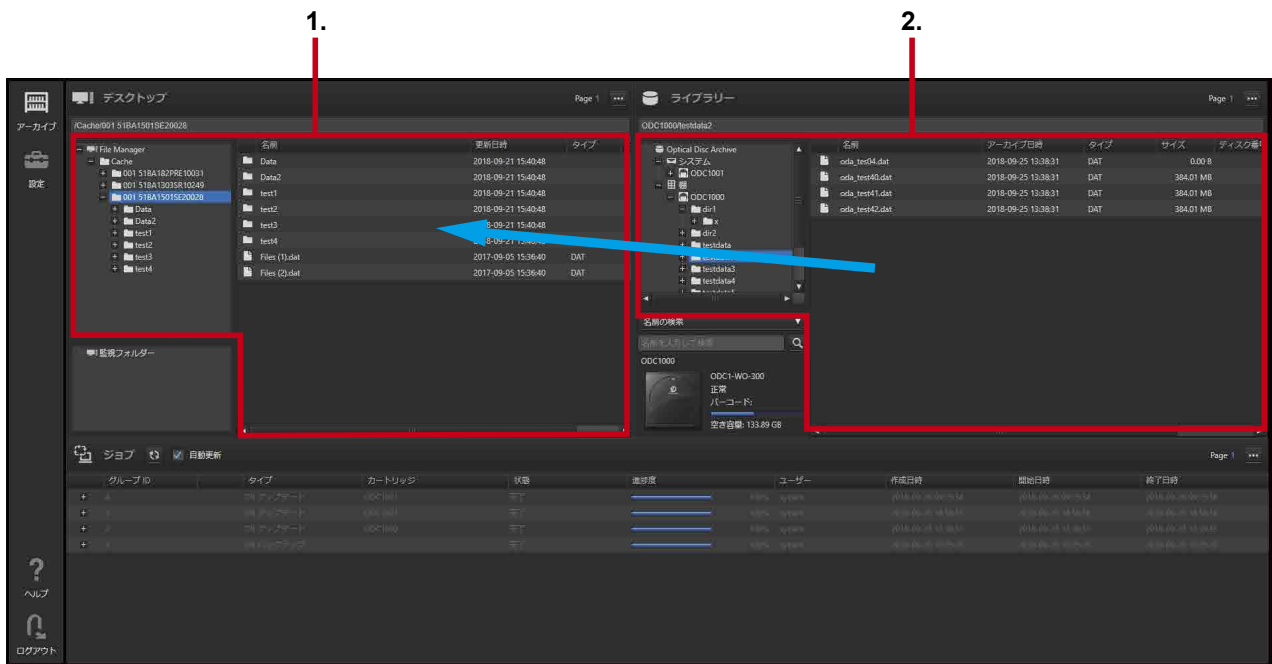
- 監視フォルダーに作成されたファイルは、アーカイブが完了すると自動的に削除されます。ただし、監視フォルダーに作成されたフォルダーは自動では削除されませんので、必要に応じて Explorer などを使って削除してください。
- 読み取り専用ファイルは、監視フォルダー機能ではアーカイブされません。
- 書き込むファイルのサイズの総量がカートリッジ1巻の容量を超えた場合、アーカイブは自動的に停止します。


- グローバルメニューの設定アイコンをクリックする。
- [アーカイブ] をクリックする。
- [監視フォルダー] の [追加] ボタンをクリックする。
[監視フォルダーを新規追加] ダイアログが表示されます。



- フォルダー名称を入力する。
フォルダー名称は、アーカイブ画面の監視フォルダー表示エリアに表示される名称です。
- [パス] の [参照] ボタンをクリックし、監視フォルダーのパスを指定する。
ネットワークパスを指定する場合は、[参照] ボタンをクリックしたあと、「ネットワークパスを追加する」の手順に従ってください。
- [OK] ボタンをクリックして、[監視フォルダーを新規追加] ダイアログを閉じる。
- グローバルメニューのアーカイブアイコンをクリックする。
- 監視フォルダー表示エリアで、監視したいフォルダーを選択し、ライブラリエリアのアーカイブ先フォルダーにドラッグ&ドロップする。
[監視アーカイブリクエスト] ダイアログが表示されます。
- アーカイブタイトルや抽出するメタデータなどを設定する。
詳しくは、「アーカイブする」をご覧ください。
- [監視アーカイブリクエスト] ダイアログの [開始] ボタンをクリックする。
フォルダーの監視が始まります。監視中のフォルダーにファイルがコピーされると、自動的にアーカイブされます。アーカイブが完了すると、ファイルが監視フォルダーから削除されます。
監視中は、監視フォルダー表示エリアのフォルダーアイコンがに変わります。
- 監視を終了する場合は、監視フォルダー表示エリアのツリーエリアで [監視フォルダー] を選択し、リストエリアで監視を停止したい監視フォルダーを選択したうえで、プルダウンメニューの [監視の停止] を選択します。

リトリブする



1. デスクトップエリアで、リトリブしたファイルを保存するフォルダーを表示させる。
リトリブするファイルは、デスクトップエリアの次の場所にドラッグ&ドロップすることができます。
 - ツリーエリアのメディアまたはフォルダー
 - リストエリア
2. ライブラリーエリアで、リトリブするカートリッジまたはカートリッジに格納されているファイルを選択する。
カートリッジは、1つだけ選択できます。
棚フォルダーのカートリッジからリトリブすることもできます。リトリブ実行時にカートリッジが棚にある場合は、グローバルメニューに  マークが表示され、マウスオーバーでカートリッジが挿入されていないことを通知するツールチップが表示されるので、カートリッジを挿入してください。
ライブラリーエリアの次の場所を選択してドラッグ&ドロップすることができます。
 - ツリーエリアのカートリッジまたはフォルダー
 - リストエリアのファイルまたはフォルダー

ご注意

次の場合は、リトリブができません。

- カートリッジの状態が、正常、読み取り専用以外の場合
 - システムの状態が動作中以外の場合
3. 選択したカートリッジまたはファイルを、保存先のフォルダーにドラッグ & ドロップする。
リトリブ先のフォルダーに同名のファイルがある場合、確認のダイアログが表示され、ファイル名の末尾に (1)、(2) を付けてリトリブするか、リトリブをしないかを選択できます。
 4. 他のジョブより優先してリトリブを実行したい場合は、[確認] ダイアログで [優先して実行する] をチェックする。
チェックすると、他の実行中または実行待ちのジョブより優先してリトリブジョブが実行されます。

5. [はい] をクリックする。

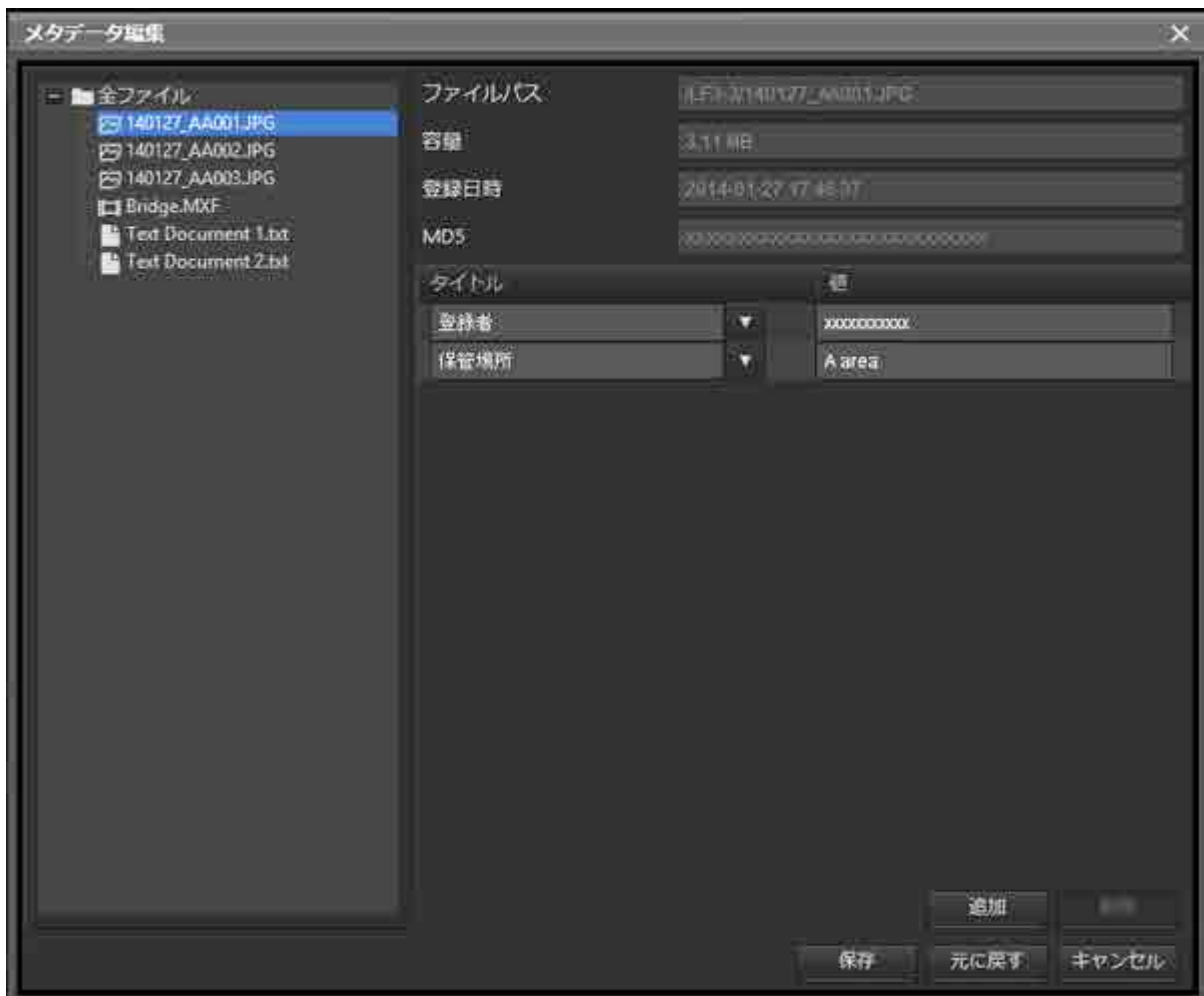
リトリブのジョブがジョブエリアに登録され、実行されます。

ファイルのメタデータを表示 / 編集する

アーカイブしたファイルのメタデータを表示することができます。また、メタデータの追加や編集ができます。

1. アーカイブ画面のライブラリエリアで、メタデータを表示したいファイルまたはフォルダーを選択する。
2. プルダウンメニューで [メタデータ編集] を選択する。

[メタデータ編集] ダイアログが表示されます。



3. メタデータを確認したいファイルまたはフォルダーをツリーで選択する。
ファイルパス、容量、登録日時、MD5 値、およびユーザーが追加したメタデータが表示されます。ユーザーが追加したメタデータは、値を編集することができます。また、[追加] ボタンをクリックして、新規にメタデータを追加することもできます。
4. 全ファイルに共通のメタデータを追加するときは、ダイアログのツリーで [全ファイル] を選択して [追加] ボタンをクリックし、メタデータのタイトルと値を入力する。
5. 編集が終わったら、[保存] ボタンをクリックする。
編集したメタデータが保存されます。

カートリッジの情報を削除する

棚にあるカートリッジの情報を削除することができます。カートリッジの中のオリジナルのファイルはこの操作では削除されません。ファイルを完全に削除するには、Optical Disc Archive Utility を使用してください。

1. アーカイブ画面のライブラリエリアのツリーエリアで [棚] フォルダを選択する。
2. リストエリアで削除したいカートリッジを選択する。
3. プルダウンメニューから [削除] を選択する。
4. 確認メッセージが表示されるので、[はい] ボタンをクリックする。

カートリッジの情報が削除されます。

カートリッジ内のファイル／フォルダーを削除する

オプティカルディスクアーカイブシステム内のカートリッジに保存されているファイルやフォルダーを削除することができます。

1. アーカイブ画面のライブラリエリアで削除したいファイル／フォルダーを選択する。
2. プルダウンメニューから [削除] を選択する。
3. 確認メッセージが表示されるので、[はい] ボタンをクリックする。


カートリッジ内のファイル／フォルダーと情報が削除されます。

カートリッジを複製する

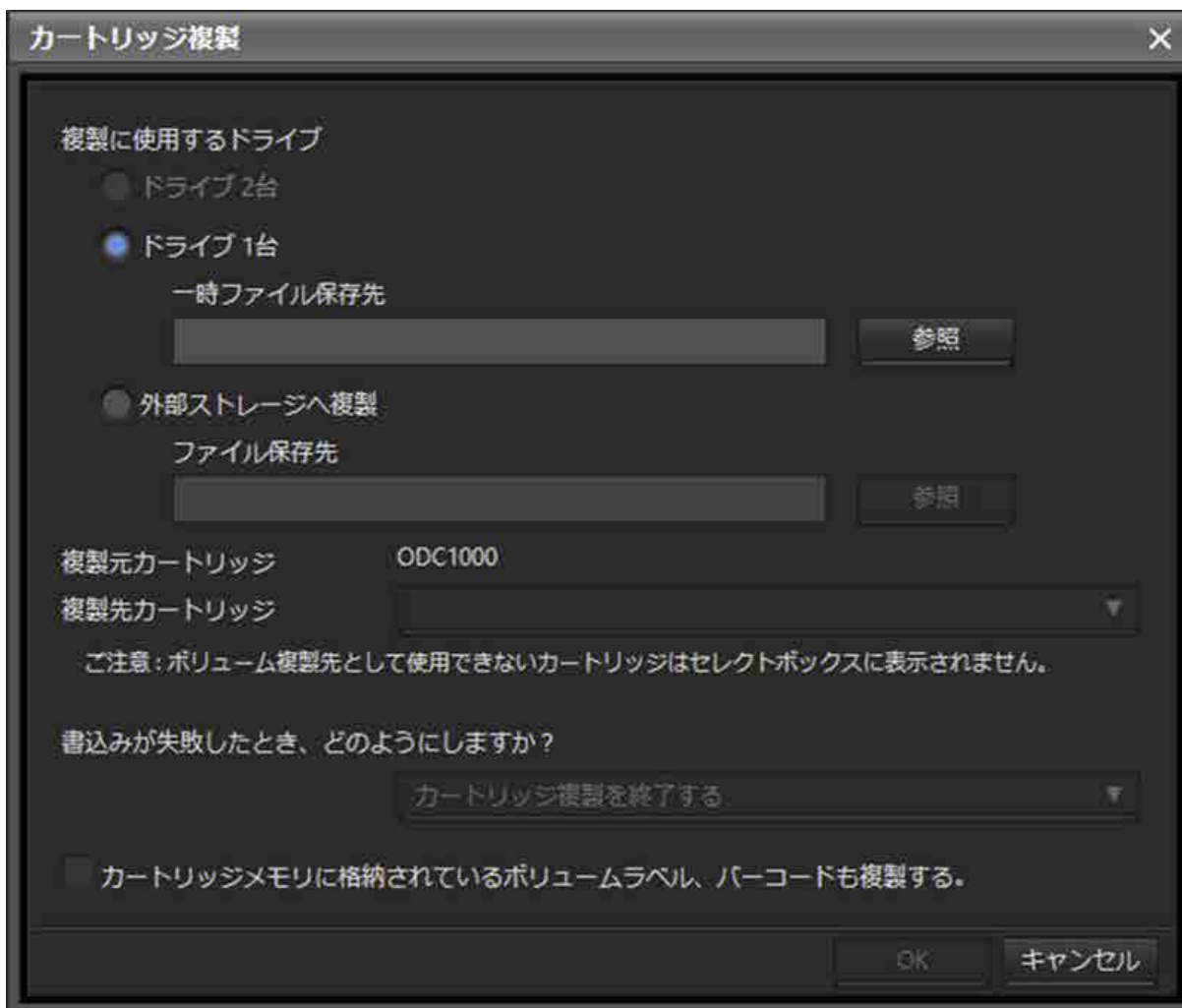
オプティカルディスクアーカイブシステム内のカートリッジに保存されているすべてのファイルやフォルダーを他のカートリッジや外部ストレージにコピーすることができます。

ご注意

ドライブを Direct Mode で接続していて、ドライブ1台で複製をする場合は、複製先カートリッジをあらかじめデータベースに登録しておく必要があります。ドライブに複製先カートリッジを挿入し、データベースにカートリッジ情報を登録してください。その後、複製元カートリッジをドライブに挿入して、複製の操作を開始してください。

1. [ライブラリー] ページで、複製元のカートリッジの  (複製) ボタンをクリックする。

[カートリッジ複製] ダイアログが表示されます。



2. [複製に使用するドライブ] で、複製に使用するドライブを選択する。

- ドライブ 2 台

システムに接続されたドライブのうち 2 台を使って複製します。1 台のドライブに複製元カートリッジを、もう 1 台のドライブに複製先カートリッジを挿入します。複製元カートリッジからのリトリートと複製先カートリッジへのアーカイブを同時に実行します。

- ドライブ 1 台

ドライブ 1 台のみを使い、カートリッジを入れ換えて複製を行います。まずドライブに複製元カートリッジを挿入します。カートリッジからファイルをリトリートし、一時的にサーバーのローカルディスク上に保存します。その後同じドライブに複製先カートリッジを挿入し、そこにローカルディスク上のファイルをアーカイブします。

- 一時ファイル保存先

[ドライブ 1 台] を選択した場合に、複製元カートリッジ内のファイルを一時的に保存するフォルダーを指定します。フォルダー内にファイルやフォルダーを含まない空のフォルダーを指定してください。また、複製元カートリッジの全ファイルが保存できる容量があるフォルダーを指定してください。

- 外部ストレージへ複製

複製元カートリッジのファイルをローカルコンピューターやネットワーク上のフォルダーに複製します。まずドライブに複製元カートリッジを挿入します。カートリッジからファイルをリトリートし、ロー

カルコンピュータやネットワーク上のフォルダーにカートリッジのシリアル番号のフォルダーを作成してファイルを保存します。

[外部ストレージへ複製] を選択した場合、この後の手順は不要です。[OK] ボタンをクリックすると、カートリッジ複製ジョブが登録されます。

■ ファイル保存先

[外部ストレージへ複製] を選択した場合に、複製元カートリッジ内のファイルを保存するローカルコンピュータまたはネットワーク上のフォルダーを指定します。複製元カートリッジの全ファイルが保存できる容量があるフォルダーを指定してください。フォルダー内に複製元カートリッジのシリアル番号と同名のフォルダーやファイルがある場合はエラーになります。

- 複製先カートリッジを選択する。
- [書き込みが失敗したとき、どのようにしますか?] で、書き込み失敗時にカートリッジ複製を終了するか、再書き込みをするかを選択する。
- カートリッジメモリに格納されているボリュームラベル、バーコードも複製したい場合は、チェックボックスをチェックする。
- [OK] ボタンをクリックする。
カートリッジ複製ジョブがジョブリストに登録されます。
- ドライブを Direct Mode で接続していて[ドライブ1台]を選択した場合は、複製元カートリッジのリトリート終了後、ドライブに複製先カートリッジを挿入する。
複製元カートリッジのリトリートが終了した後、カートリッジ交換を促すダイアログが表示されます。画面の指示に従って、カートリッジを交換してください。

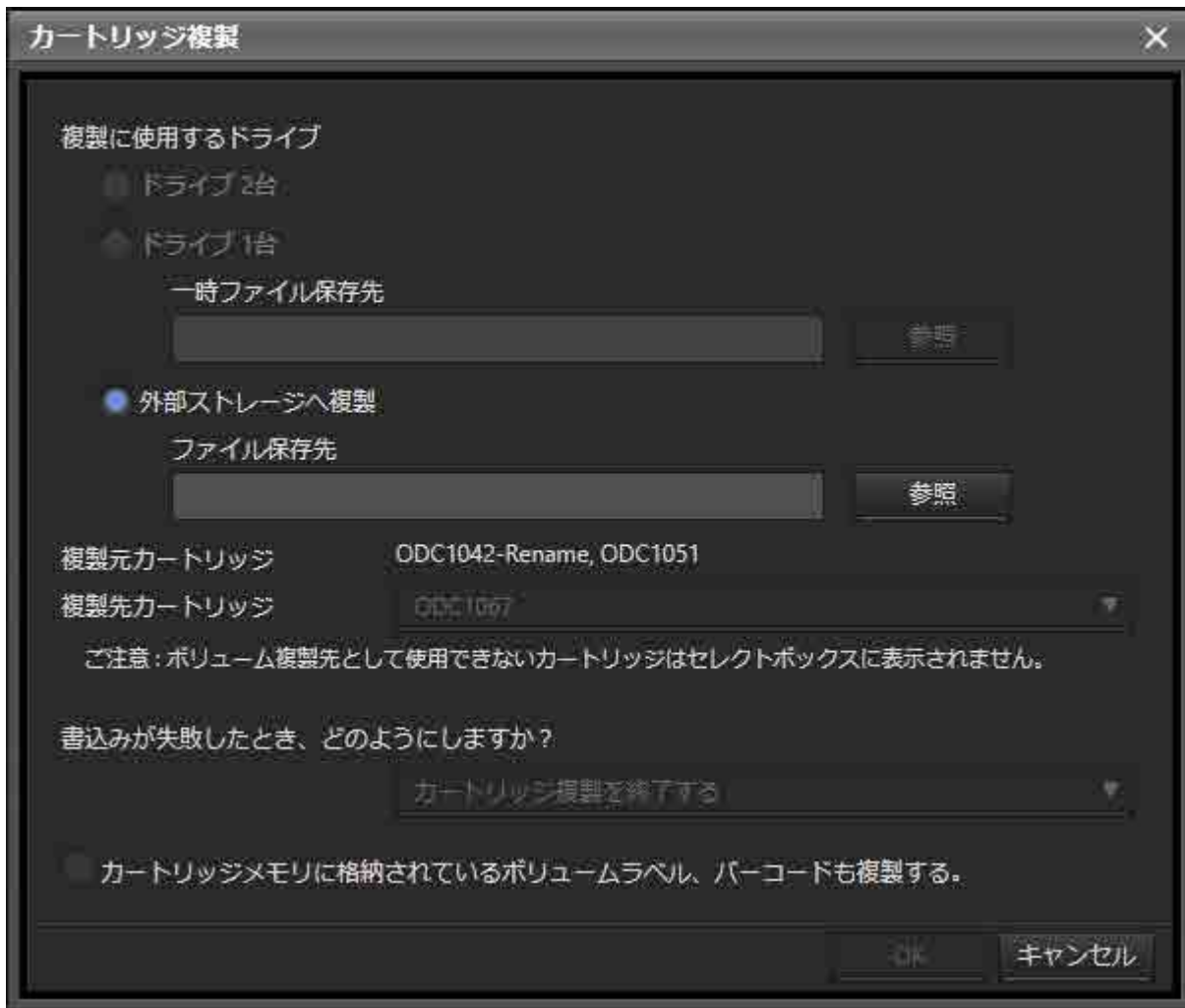
ライブラリーを一括複製する

オプティカルディスクアーカイブシステムのライブラリーを外部ストレージに一括して複製できます。

ご注意

ドライブを Direct Mode で接続していて、ドライブ1台で複製をする場合は、複製先カートリッジをあらかじめデータベースに登録しておく必要があります。ドライブに複製先カートリッジを挿入し、データベースにカートリッジ情報を登録してください。その後、複製元カートリッジをドライブに挿入して、複製の操作を開始してください。

1. [ライブラリー] ページで、複製したいカートリッジのチェックボックスを選択する。
2. [一括複製] ボタンをクリックする。
[カートリッジ複製] ダイアログが表示されます。



3. [複製に使用するドライブ] で、複製に使用するドライブを選択する。

ご注意

複数のカートリッジを選択した場合は、[外部ストレージへ複製] のみ選択できます。

- ドライブ2台

システムに接続されたドライブのうち2台を使って複製します。1台のドライブに複製元カートリッジを、もう1台のドライブに複製先カートリッジを挿入します。複製元カートリッジからのリトリートと複製先カートリッジへのアーカイブを同時に実行します。

- ドライブ1台

ドライブ1台のみを使い、カートリッジを入れ換えて複製を行います。まずドライブに複製元カートリッジを挿入します。カートリッジからファイルをリトリートし、一時的にサーバーのローカルディスク上に保存します。その後同じドライブに複製先カートリッジを挿入し、そこにローカルディスク上のファイルをアーカイブします。

- 一時ファイル保存先

[ドライブ1台] を選択した場合に、複製元カートリッジ内のファイルを一時的に保存するフォルダーを指定します。フォルダー内にファイルやフォルダーを含まない空のフォルダーを指定してください。また、複製元カートリッジの全ファイルが保存できる容量があるフォルダーを指定してください。

- 外部ストレージへ複製

選択したカートリッジのファイルをローカルコンピューターやネットワーク上のフォルダーに複製します。まずドライブに複製元カートリッジを挿入します。カートリッジからファイルをリトリートし、ローカルコンピューターやネットワーク上のフォルダーにカートリッジのシリアル番号のフォルダーを作成してファイルを保存します。

[外部ストレージへ複製] を選択した場合、この後の手順は不要です。

[OK] ボタンをクリックすると、カートリッジ複製ジョブが登録されます。

■ ファイル保存先

[外部ストレージへ複製] を選択した場合に、複製元カートリッジ内のファイルを保存するローカルコンピューターまたはネットワーク上のフォルダーを指定します。複製元カートリッジの全ファイルが保存できる容量があるフォルダーを指定してください。フォルダー内に複製元カートリッジのシリアル番号と同名のフォルダーやファイルがある場合はエラーになります。

4. 複製先カートリッジを選択する。
5. [書き込みが失敗したとき、どのようにしますか?] で、書き込み失敗時にカートリッジ複製を終了するか、再書き込みをするかを選択する。
6. カートリッジメモリに格納されているボリュームラベル、バーコードも複製したい場合は、チェックボックスをチェックする。
7. [OK] ボタンをクリックする。
カートリッジ複製ジョブがジョブリストに登録されます。
8. ドライブを Direct Mode で接続していて [ドライブ1台] を選択した場合は、複製元カートリッジのリトリート終了後、ドライブに複製先カートリッジを挿入する。
複製元カートリッジのリトリートが終了した後、カートリッジ交換を促すダイアログが表示されます。画面の指示に従って、カートリッジを交換してください。

ネットワークパスを追加する

ベースパス、監視フォルダー、およびバックアップ先フォルダーにネットワーク上のパスを指定することができます。

1. [ベースパスの新規追加] ダイアログ、[監視フォルダーを新規追加] ダイアログ、または [データベースバックアップの実行] ダイアログで [参照] ボタンをクリックする。
2. [参照] ダイアログで [ネットワークドライブの追加] ボタンをクリックする。
3. [ネットワークドライブ] ダイアログの [ネットワークパス] に、ネットワーク上のドライブのパスを UNC 形式 (¥¥ サーバー名 ¥ 共有名 ¥ フォルダー名) で入力する。
4. ユーザー名とパスワードが必要な場合は、入力する。
5. [OK] ボタンをクリックする。
追加されたネットワークパスが [参照] ダイアログに表示されます。

ネットワークパスを削除するには

[参照] ダイアログで削除したいネットワークパスを選択し、[ネットワークドライブの削除] をクリックします。

ご注意

ネットワークパスが、ベースパス、監視フォルダー、またはデータベースバックアップ先として設定されている場合は、ネットワークパスを削除できません。

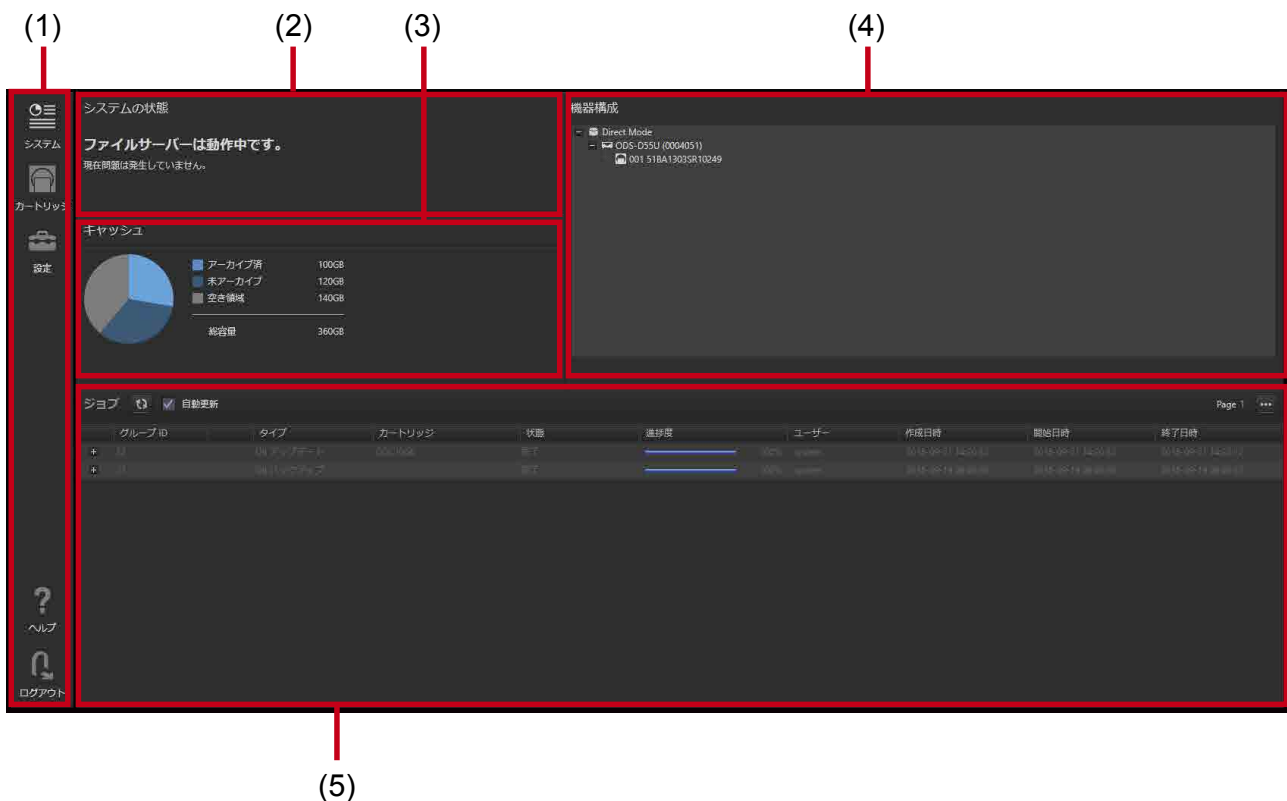
File Server モード

本セクションでは、File Server モードの各画面と操作の説明をしています。

- システムダッシュボード画面
- カートリッジ画面
- メンテナンスモードに切り換える
- リカバリー処理を行う






システムダッシュボード画面

システムの動作状態を表示します。



(1) グローバルメニュー

アイコンをクリックして、画面を移動します。

-  (システム) : システムダッシュボード画面を表示します。
-  (カートリッジ) : カートリッジ画面を表示します。
-  (設定) : 設定画面を表示します。
-  (ヘルプ) : ヘルプおよびバージョン情報を表示します。
-  (ログアウト) : ログアウトします。

(2) システムの状態

システムの動作状態を表示し、異常が発生した場合は、異常の詳細を表示します。

システムの動作状態は、次のいずれかが表示されます。

- 動作中
- メンテナンス中
- 停止中
- 異常

(3) キャッシュ

キャッシュフォルダーの使用状況と内訳をグラフで表示します。

内訳の項目は次のとおりです。



- アーカイブ済み
- 未アーカイブ
- 空き領域

(4) 機器構成


システムの機器構成をツリー形式で表示します。機器に異常がある場合は、アイコンで表します。

(5) ジョブ

ジョブが一覧表示されます。ジョブリストの表示内容は次のとおりです。表示する項目は、プルダウンメニューの「表示するカラム」で変更できます。

- グループ ID：ジョブグループ ID
- ID：ジョブ ID
-  アイコン：一時停止リクエストを受け付けたジョブ
-  アイコン：中止リクエストを受け付けたジョブ
- タイプ：ジョブの種類
- 名前：ファイル名
- カートリッジ：カートリッジ名
- 状態：ジョブの状態
- 進捗度：アーカイブまたはリトリーブの進捗状況
- ユーザー：ジョブを登録したユーザーの ID
- 作成日時：ジョブを作成した（リクエストした）時刻
- 開始日時：ジョブの開始時刻
- 終了日時：ジョブの終了時刻

プルダウンメニュー

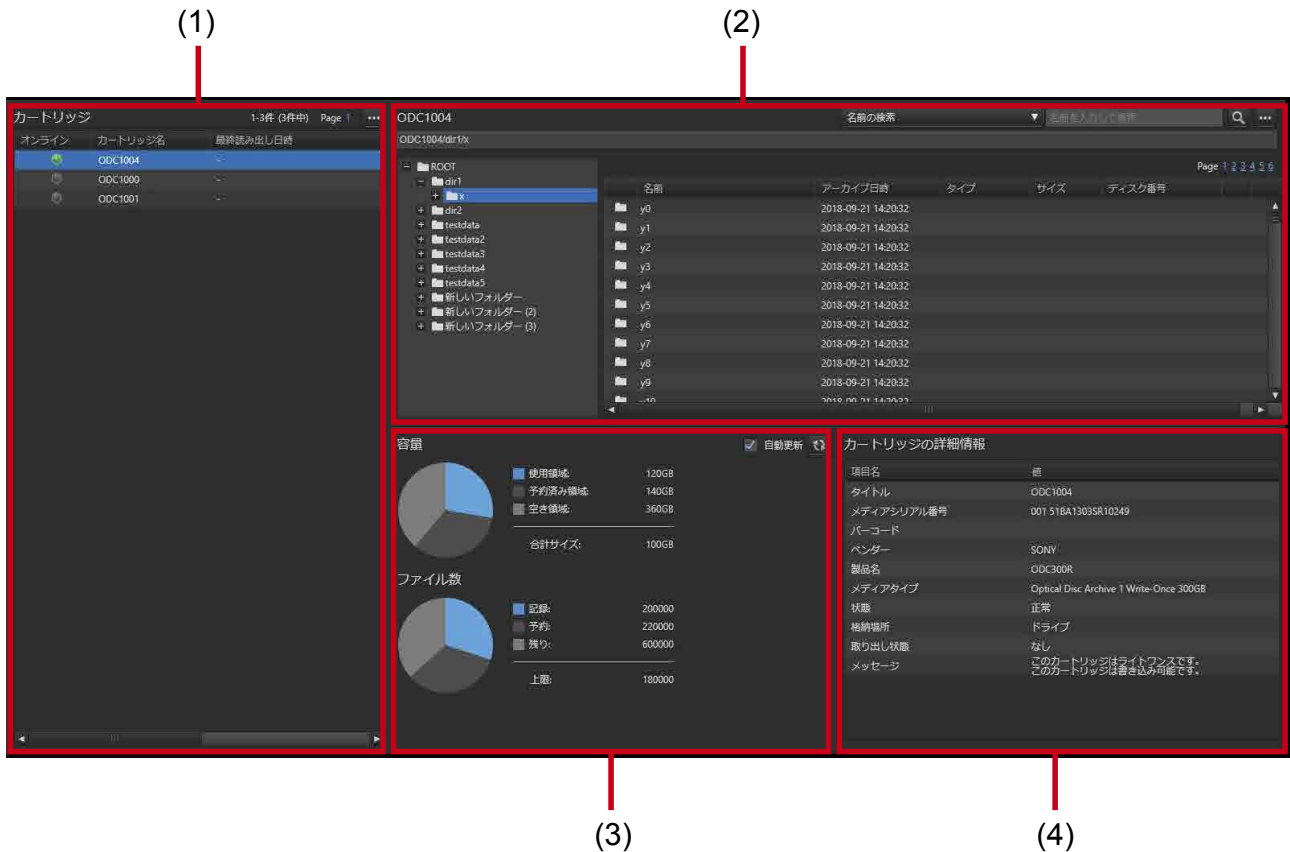
 をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。次のメニューがあります。

- ジョブレポートの表示：ジョブが失敗、停止、一時停止したときに、選択したジョブグループ内のジョブに対するレポートを表示します。

- ジョブレポートの出力：選択したジョブグループ内のジョブに対するレポートを、CSV フォーマットで出力します。
- 表示するカラム：ジョブリストに表示する項目を選択します。


カートリッジ画面

カートリッジの情報、カートリッジに格納されたファイルを表示します。




(1) カートリッジリスト

カートリッジが一覧表示されます。カートリッジリストの表示内容は次のとおりです。

- オンライン：カートリッジがオンラインのときは緑色の  が表示され、カートリッジ取り出し要求を受け付けているときは「取り出し中」と表示されます。オフラインのときは何も表示されません。
- カートリッジ名
- 最終読み出し日時
- 使用率：カートリッジ容量の使用率
- メディアシリアル番号
- バーコード

プルダウンメニュー

 をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。次のメニューがあります。

- カタログデータ出力：選択しているカートリッジの中のファイルの一覧を、CSV フォーマットで出力します。

- カートリッジ情報の削除：オフラインのカートリッジを選択してこのメニューを実行すると、カートリッジの情報をデータベースから削除します。カートリッジ内のファイルは削除されません。カートリッジがオンラインの場合は、実行できません。
- 取り出す：カートリッジの取り出しを要求します。取り出し要求を受け付けたカートリッジは「オンライン」状態から「取り出し中」状態に変わります。この操作は、メンテナンスページのシステム状態が「動作中」または「メンテナンス中」で、かつ状態切替リクエストが「リクエストなし」の場合のみ実行可能です。

ご注意

- 次の場合、カートリッジの取り出しは開始しません。
 - 仮想ボリューム上の該当カートリッジと同名のフォルダー内のファイルが開いている。
 - 仮想ボリューム上に該当カートリッジに対する未アーカイブファイルがある。
- カートリッジが「取り出し中」のときにサービスを終了するとカートリッジが取り出されないことがあります。
- ODS-L10 をご利用の場合、本機能は使用できません。

(2) カートリッジファイルリスト

カートリッジリストで選択したカートリッジのフォルダーやファイルを表示します。


検索エリア

カートリッジ内のファイルやフォルダーを検索します。

1. ツリーエリアで検索対象のカートリッジやフォルダーを選択する。すべてのカートリッジを検索対象とする場合は、ツリーエリアでカートリッジを何も選択しない状態にする。
2. リストボックスで検索タイプを指定する。
 - 名前の検索：入力したキーワードを名前に含むファイルおよびフォルダーを検索します。
 - ファイルの検索：入力したキーワードを名前に含むファイルを検索します。
 - フォルダーの検索：入力したキーワードを名前に含むフォルダーを検索します。
 - すべて：入力したキーワードを名前またはメタデータの値に含むファイルおよびフォルダーを検索します。
 - (メタデータのタイトル)：選択したメタデータの値に、入力したキーワードを含むファイルおよびフォルダーを検索します。
3. 検索キーワードを入力する。

「名前の検索」、「ファイルの検索」、または「フォルダーの検索」を選択した場合は、ファイル名またはフォルダー名の一部を入力します。

メタデータのタイトルを選択した場合は、メタデータの値を入力します。

「すべて」を選択した場合は、ファイル名、フォルダー名、またはメタデータの値の一部を入力します。
4.  ボタンをクリックする。

検索結果がリストエリアに表示されます。

ツリーエリア

カートリッジ内のフォルダーをツリー表示します。

リストエリア

ツリーエリアで選択したフォルダー内のフォルダーおよびファイルを一覧表示します。

次の内容が表示されます。

- ファイルタイプアイコン
- 名前：ファイル名
- アーカイブ日時：アーカイブされた日時
- タイプ：ファイルの拡張子
- ディスク番号：ファイルが書き込まれているディスクの番号
- サイズ：ファイルサイズ
- メタデータアイコン：メタデータの有無



：メタデータ有り

アイコン無し：メタデータ無し

- アーカイブアイコン：アーカイブ状態

アイコン無し：アーカイブ済み（この場合のみリトリブ可能）



：アーカイブ中




：アーカイブ中にエラー発生



：ファイルの状態をチェック中

プルダウンメニュー

をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。次のメニューがあります。

- メタデータ編集：[メタデータ編集] ダイアログを表示し、選択したファイルまたはフォルダーのメタデータを表示、編集します。
- 上へ：一つ上の階層のフォルダーへ移動します。
- フォルダーを開く：リストエリアで選択しているフォルダーを開きます。

(3) 容量とファイル数

カートリッジの容量とファイル数の内訳をグラフで表示します。

容量

- 使用領域：既にアーカイブされている総ファイルサイズ
- 予約済み領域：アーカイブジョブとして書き込みが予定されている総ファイルサイズ
- 空き領域：カートリッジ容量から「使用領域」および「予約済み領域」を差し引いたサイズ

ファイル数

- 記録：アーカイブ済みのファイル数
- 予約：アーカイブジョブで書き込みが予定されているファイル数
- 残り：カートリッジのファイル数上限から「記録」および「予約」を差し引いた数

(4) カートリッジの詳細情報

カートリッジの詳細を表示します。表示される項目は次の通りです。

- タイトル
- メディアシリアル番号
- バーコード
- ベンダー
- 製品名
- メディアタイプ
- 状態
- 格納場所
- 取り出し状態
- メッセージ

メンテナンスモードに切り換える

File Server モードで、データベースやドライブ、カートリッジなどの操作を行う場合、メンテナンスモードに切り換える必要があります。

メンテナンスモードでは、仮想ボリュームがアンマウントされます。仮想ボリュームを使用するアプリケーションは停止させてください。

メンテナンスモードを開始するには

1. 設定画面のメンテナンスページを開く。
2. [状態] の [システム状態] 欄に「動作中」と表示されていることを確認する。
3. [サービスの終了と起動] の [メンテナンス開始] ボタンをクリックする。

仮想ボリュームがアンマウントされ、キャッシュ中の未アーカイブファイルのジョブ登録およびジョブの実行が完了するのを待ってからメンテナンスモードになります。

メンテナンスモードになると、[状態] の [システム状態] 欄の表示が「メンテナンス中」に変わります。

メンテナンスモードを終了するには

1. 設定画面のメンテナンスページを開く。
2. [サービスの終了と起動] の [メンテナンス終了] ボタンをクリックする。

リカバリー処理を行う

アーカイブが失敗し、未アーカイブのファイルがサーバーのキャッシュに書き込まれた状態でファイルサーバーが異常な状態になってしまふことがあります。このような場合に、未アーカイブのファイルを安全にカートリッジに書き込むための処理をリカバリー処理と呼びます。

リカバリーが必要な状態になった場合は、システムダッシュボード画面の [システムの状態] に「ファイルサーバーに問題が発生しています。カートリッジへの同期に失敗しました。メンテナンスを開始して、修復してください。」と表示されます。以降の手順でリカバリーしてください。

(1) キャッシュからカートリッジへの同期を再度試みる

1. [メンテナンス] ページで [メンテナンス開始] ボタンをクリックする。
2. 「メンテナンス状態に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] ボタンをクリックする。

3. 未アーカイブファイルの再同期を促すダイアログが表示されたら、ダイアログの指示に従って、キャッシュからカートリッジへの同期を再度試みる。


同期が成功した場合

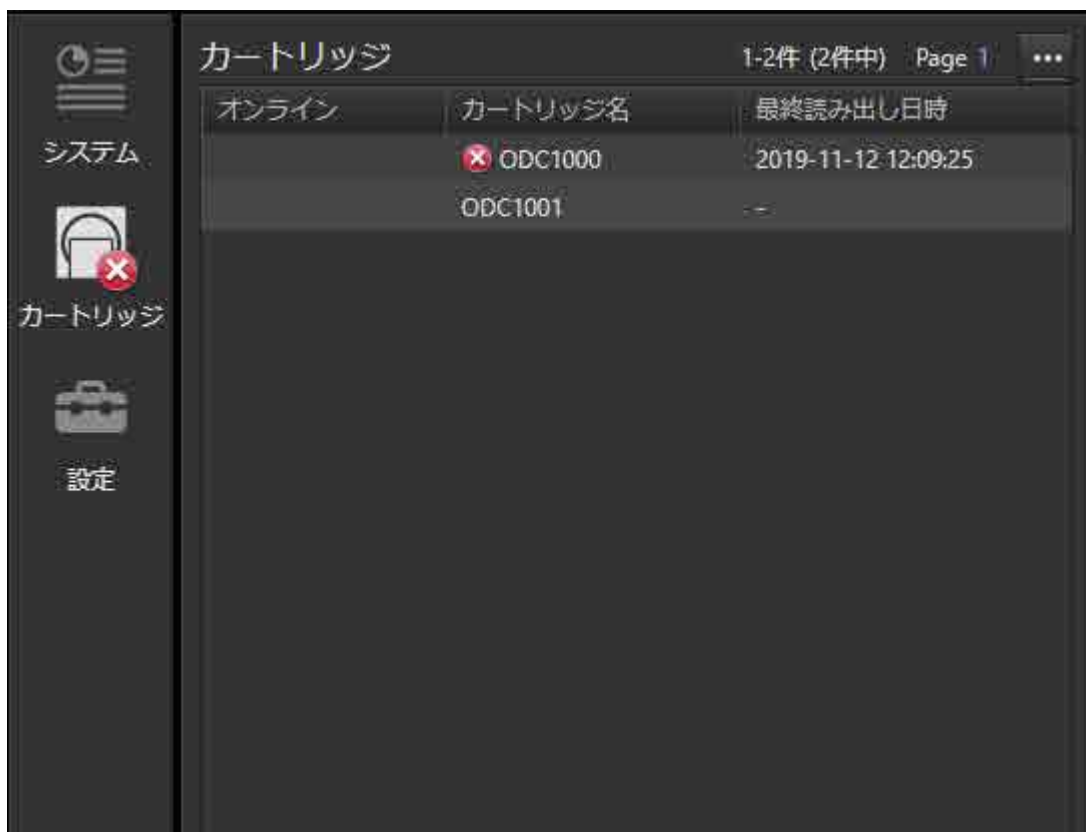
自動的にメンテナンスモードに入ります。ケーブルの挿し込みが不十分など、書き込みが失敗する要因がないことを確かめてからメンテナンスモードを終了し、運用に戻ってください。

同期が失敗した場合

再度同期を試みるか、未アーカイブファイルを一時退避するかを選択できます。再度同期を試みる場合は、カートリッジへの書き込みが失敗する要因がないか確認してください。一時退避を選択した場合は、一時退避完了後「カートリッジ画面より一時退避ファイルをカートリッジにアーカイブしてください。」というメッセージが表示されるので、指示に従って (2) へ進んでください。

(2) 一時退避した未アーカイブファイルの処理方法を選択する

リカバリー処理が必要なカートリッジは、カートリッジ画面のカートリッジリストに赤い  マークが表示されます。





リカバリーするカートリッジを選択し、カートリッジリストのプルダウンメニューから、次のいずれかを選択してください。

- 未アーカイブファイルを破棄する
アーカイブを行いません。キャッシュ上の未アーカイブファイルを破棄して、処理を終了します。
- 未アーカイブファイルを修復する
キャッシュ上の未アーカイブのファイルをカートリッジにアーカイブします。(3) に進んでください。

ご注意

「未アーカイブファイルを修復する」は、対象のカートリッジがオフラインのときは選択できません。

すべてのカートリッジの対応が完了すると自動的にメンテナンスモードに入ります。

未アーカイブファイルの修復や破棄の処理中のカートリッジは、カートリッジリストに  マークが表示されます。処理が完了するとマークが消え、処理が失敗すると再び  マークが表示されます。

(3) 未アーカイブファイルを修復する

〔未アーカイブファイル復元方法の選択〕 ダイアログで、未アーカイブファイルを元のカートリッジに修復するか、元のカートリッジを別のカートリッジに複製し、複製したカートリッジに未アーカイブファイルを修復するかを選択します。

〔元のカートリッジに修復する〕を選択した場合

キャッシュ上の未アーカイブのファイルを元のカートリッジにアーカイブする処理が開始されます。

〔元のカートリッジを別のカートリッジに複製し、そこに未アーカイブファイルを修復する〕を選択した場合複製ダイアログが表示されます。設定項目を指定して、[OK] ボタンをクリックしてください。複製処理が開始されます。

(4) 未アーカイブファイルを破棄する

確認ダイアログが表示され、[はい] を選択すると当該カートリッジの未アーカイブファイルの破棄処理が開始されます。

設定

本セクションでは、本ソフトウェアの設定画面について、各部の機能と働きを説明しています。

- 個人設定ページ
- ライブラリーページ
- ユーザーページ
- アーカイブページ
- メンテナンスページ
- 通知ページ
- ファイルサーバーページ（File Server モードのみ）
- データベースページ
- バックアップスケジュールの設定 / データベースクリーンアップの設定ダイアログ

個人設定ページ

本ソフトウェアの表示に関する設定およびログインユーザーのアカウント設定を行います。

各項目の設定を変更した場合は、必ず「保存」ボタンをクリックしてください。

このページで設定した内容は、ユーザーごとに保存されます。

個人設定

このページでは、アカウントの個人設定が行えます。

表示言語

日本語 ▼

保存

☐ パスワードを変更する

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード (確認)

保存

☐ メール設定を変更する

メールアドレス

再入力 (確認)

☐ メール通知を受け取る

保存

表示言語

本ソフトウェアの表示言語を選択します。

パスワードを変更する

ログインユーザーのパスワードを変更します。

メール設定を変更する

アーカイブ / リトリブの完了または失敗、および管理者によるパスワード更新の通知を受け取る場合に、
[メール通知を受け取る] をチェックして、通知を受け取るメールアドレスを入力します。
なお、メール通知を使用するには、設定画面の [通知] ページでメールの設定が必要です。

ライブラリースページ

オプティカルディスクアーカイブシステム内のカートリッジの状態の確認、および I/E トレイの開閉を行います。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

ライブラリース

このページでは、システム、カートリッジ、ドライブの状態確認と設定変更が行えます。

I/E トレイ状態

ロック解除

ロック

自動更新

システム

システム名	タイプ	状態	メッセージ
L30M	ODS-L30M	動作中	

同期

カートリッジ

	タイトル	シリアル番号						取り出し状態	書き保護	状態
<input checked="" type="checkbox"/>	ODC1042-Rename	001.51CA1217TR60206						なし	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ	正
<input type="checkbox"/>	ODC1051	001.51DA1226UR60602						取り出し準備完了	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ	正
<input checked="" type="checkbox"/>	ODC1052	001.51AA1728QE30075						なし	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ	正
<input type="checkbox"/>	ODC1066	001.51DA1226UR60614						なし	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ	正
<input type="checkbox"/>	ODC1067	001.51DA1226UR60461						なし	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ	正

全選択一括複製

ドライブ

場所	シリアル番号	状態	設定	メッセージ
1002	0101006	取り出し	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
1004	2000149	取り出し	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
1005	0101166	取り出し	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
1006	1000379	取り出し	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	

I/E トレイ状態

I/E トレイの状態を表示します。

- ロック：ロックされていて、開閉不可。
- ロック解除：ロックが解除されていて、開閉可能。
- ロック中：ロック処理中。
- ロック解除中：ロック解除処理中。

ご注意

ドライブをコンピューターに直接接続している場合は、表示されません。

【ロック】 / 【アンロック】 ボタン

I/E トレイがロックされているときは、I/E トレイのロックを解除し、カートリッジの出し入れのために I/E トレイを開けられる状態にします。


I/E トレイのロックが解除されているときは、I/E トレイをロックします。

ご注意

I/E トレイを開けたあと File Manager を使用する場合は、必ず I/E トレイをロックしてください。

自動更新

チェックすると、画面の表示を 10 秒ごとに自動更新します。

チェックのオン / オフにかかわらず、 ボタンをクリックすると、表示を更新します。

システム

本ソフトウェアと接続しているオプティカルディスクアーカイブシステムの状態を表示します。

- システム名：接続しているシステムの名称。ドライブを直接コンピューターに接続している場合は、Direct Mode と表示される。
- タイプ：接続している機種名。ドライブを直接コンピューターに接続している場合は、Drive-Direct と表示される。
- 状態：機器の状態。状態は、File Manager モードと File Server モードで異なります。

File Manager モードの場合

- 動作中：正常に動作している。
- スタンバイ：スタンバイ中。
- サスペンド：I/E トレイがオープンしている。
- 失敗：エラーが発生しており、動作していない。
- 準備中：動作していない。

File Server モードの場合

- 動作中：正常に動作している。
- 停止中：停止している。
- 異常：システムに異常がある。
- メンテナンス中：メンテナンスモード。
- IE スロットオープン中：I/E トレイがオープンしている。
- メッセージ：状態が「失敗」の場合に、エラーメッセージが表示されます。エラーの詳細については、ソニーのサービス担当者にお問い合わせください。

【同期】 ボタン

ODS-L30M と接続しているときに、カートリッジやドライブの情報を更新します。

ODS-L10 と接続しているときは、このボタンは表示されません。




カートリッジ

オプティカルディスクアーカイブシステム内のカートリッジの状態を表示し、各カートリッジに対する操作を行います。

ご注意




File Server モードの場合、フォーマット、ファイナライズ、複製、イジェクトの各ボタンと〔書込保護〕は、メンテナンスモード時のみ操作できます。

- チェックボックス：ライブラリーを一括複製する際に、複製するカートリッジを選択します。
- ランプ：イジェクトランプの状態を表示します。

- タイトル：カートリッジの名称を表示します。
- シリアル番号：カートリッジのシリアル番号を表示します。
-  (印刷) ボタン:カートリッジのタイトル、メディアシリアル番号、メディアシリアル番号の QR コードをラベルに印刷するための画面を表示します。
-  (編集) ボタン：[カートリッジの詳細情報] ダイアログを表示し、カートリッジの詳細情報を表示します。このダイアログで、カートリッジの名称を変更できます。
-  (フォーマット) ボタン：カートリッジをフォーマットします。リライタブルタイプのカートリッジの場合は、パリティの ON/OFF を選択できます。ODC3300R の場合は、パリティ ON で固定です。

ご注意

このボタンでフォーマットすると、カートリッジの容量が回復し、ロールバックはできなくなります。容量を回復させずにフォーマットしたい場合は、Optical Disc Archive Utility をお使いください。

-  (ファイナライズ) ボタン：カートリッジをファイナライズします。
-  (複製) ボタン:カートリッジの複製を作ります。詳しくは、「カートリッジを複製する」をご覧ください。
-  (イジェクト) ボタン：カートリッジをイジェクトしたいときにクリックします。カートリッジがドライブに挿入されている場合は、ドライブから I/E スロットに移動されます。I/E トレイを開けると、当該スロットの LED が点滅します。
- 取り出し状態：イジェクト処理の実行状態を表示します。
 - なし：イジェクト処理を行っていない。
 - 取り出し要求中：イジェクトボタンがクリックされ、I/E スロットへ移動中または移動待ち。
 - 取り出し準備完了：カートリッジが I/E スロットに移動され、取り出しの準備が完了している。I/E トレイを開けたときには、該当のスロットの LED が点滅する。
- 書込保護：ライトプロテクトのオン / オフを切り換えます。オフになっていても、カートリッジのライトプロテクトスイッチが書き込み禁止になっている場合は、書き込めません。
- 状態：カートリッジの状態を表示します。
 - 正常：通常状態
 - 読み取り専用：読み込み（リトリーブ）のみ可能
 - エラー：すべての操作が不可
 - チェック中：カートリッジの状態をチェック中
 - フォーマット中：フォーマット処理中
 - ファイナライズ中：ファイナライズ処理中
 - 複製中：ボリューム複製処理中
- 格納場所：カートリッジのある場所を表示します。カートリッジがスロットに入っている場合はスロットのアドレス、ドライブに入っている場合はドライブのアドレスやドライブレターが表示されます。
- 空き容量：空き容量を表示します。
- 総容量：総容量を表示します。

【一括複製】 ボタン

カートリッジリストのチェックボックスで選択したカートリッジを一括して複製します。

ドライブ

オプティカルディスクアーカイブシステムのドライブの状態を表示します。

ご注意

File Server モードの場合、[設定] はメンテナンスモード時のみ操作できます。

- 場所：ドライブのある場所。ライブラリー中のドライブのアドレスやドライブレターが表示されます。
- シリアル番号：ドライブのシリアル番号を表示します。
- 状態：ドライブの状態。
 - 挿入：カートリッジが挿入されている。
 - 取り出し：カートリッジが挿入されていない。
 - 挿入中：カートリッジ挿入処理中。
 - 取り出し中：カートリッジ排出処理中。
- 設定：有効にすると、ドライブが使用可能になります。無効にすると、ドライブが使用不可能になります。
- メッセージ：ドライブにエラーが発生している場合に、エラーメッセージを表示します。

ユーザーページ

本ソフトウェアのユーザーアカウントを管理します。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

ユーザー

このページでは、ユーザーアカウントに関する設定が行えます。

ユーザーリスト

ユーザー ID	権限	フルネーム	最終ログイン日
wsuser	管理者	web service user	
admin	管理者		2014-02-14 18:15:27

追加

編集

削除

ユーザーリスト

ユーザーの一覧を表示します。ユーザー ID、権限、フルネーム、最終ログイン日を表示します。

ユーザーを追加するには

1. [追加] ボタンをクリックする。
2. [アカウントを新規追加] ダイアログで、新規ユーザーのユーザー ID とユーザー権限（管理者 / 一般）を設定する。メール通知を行う場合は、チェックボックスを選択し、メールアドレスを入力する。
メール通知の設定を行うと、アーカイブ / リトリブの完了、新規パスワードの通知などのメールが送信されます。

3. [OK] ボタンをクリックする。

ユーザーアカウントが新規に作成され、ユーザーのパスワードが自動生成されます。メール通知の設定を行った場合は、自動生成されたパスワードがメールで通知されます。メール通知の設定を行わなかった場合は、パスワードを表示するダイアログが表示されます。

ユーザー情報を編集するには

1. ユーザーを選択して、[編集] ボタンをクリックする。
2. [アカウントを編集] ダイアログで、ユーザー権限（管理者 / 一般）を選択する。
3. パスワードを変更する場合は、[新しいパスワードを発行する] をチェックする。
4. [OK] ボタンをクリックする。

編集した内容が反映されます。[新しいパスワードを発行する] をチェックした場合は、新しいログインパスワードが自動的に生成されます。メール通知の設定がされている場合は、設定したメールアドレスにパスワードを記載したメールが送信されます。メール通知の設定がされていない場合は、パスワードを表示するダイアログが表示されます。

ご注意

ログイン中のユーザーのユーザー情報は変更できません。

ユーザーを削除するには

ユーザーを選択して、[削除] ボタンをクリックします。

アーカイブページ

アーカイブについての設定を行います。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

ご注意

アーカイブジョブまたはリトリブジョブが実行中の場合は、[MD5 チェックサムを有効にする] と [Disc spanning を制限する] の設定を変更できません。

アーカイブ このページでは、アーカイブに関する情報の設定変更が行えます。

☐ **MD5 チェックサムを有効にする** **保存**
 アーカイブの後に MD5 チェックサムとデータの補正を行います。

☒ **Disc spanning を制限する** **保存**
 アーカイブするファイルがカートリッジ内の複数のディスクにまたがって保存されることを防ぐことができます。

☒ **リトリブの後に厳密なファイル比較を行う** **保存**
 アーカイブ時に MD5 チェックサムが計算されている場合は、ファイルサイズに加えて、MD5 の比較も行います。オプションにする場合、ファイル比較を行います。

ベースパス

物理パス	物理パス	アーカイブ後継続する
Source	C:/Source	いいえ

監視フォルダー

名前	パス
Watched folder 1	C:/Watched

カートリッジ名

接続語 ODC **保存**

MD5 チェックサムを有効にする

チェックすると、アーカイブおよびリトリブの後に MD5 チェックサムでデータの確認を行います。

ご注意

Optical Disc Archive Utility でベリファイを行う設定にしている場合、MD5 チェックサムを有効にすると、アーカイブ時のチェックが二重に行われ、アーカイブ時間が長くなります。Optical Disc Archive Utility のベリファイ設定と、本ソフトウェアの MD5 チェックサムが両方とも有効になっている場合、または両方とも無効になっている場合は、確認メッセージが表示されます。必要に応じて、どちらかの設定を変更してください。

Disc spanning を制限する

チェックすると、アーカイブするファイルがカートリッジ内の複数のディスクにまたがって保存されることが少なくなるように制御します。

リトリブ後に厳密なファイル比較を行う

チェックすると、リトリブでファイルをコピーした後に、ファイルサイズおよび MD5 チェックサム（アーカイブ時に「MD5 チェックサムを有効にする」を選択している場合）の比較を行い、リトリブ元のファイルと同一かどうかを確認します。

ご注意

ファイルをコピーするとフォーマットが自動的に変換されることがある場合は、チェックを外してください。

ベースパス (File Manager モードのみ)

アーカイブ画面のデスクトップエリアに公開するフォルダー (ベースパス) を設定します。

アーカイブ画面には、指定したフォルダー以下のファイル / フォルダーが表示されます。公開するフォルダーを制限することで、システムファイルなどを誤って変更することを防げます。

ベースパスの設定では、次の項目を設定します。

- 仮想パス：アーカイブ画面のデスクトップエリアに表示される仮想フォルダー名を指定します。
- 物理パス：ローカルコンピューターやネットワークストレージなどの物理パスを指定します。
- アーカイブ後削除する：アーカイブ後にアーカイブしたファイルを削除するかどうかを指定します。

ベースパスを追加するには

1. [追加] ボタンをクリックする。
2. [ベースパスを新規追加] ダイアログで仮想パス名、物理パス、およびアーカイブ後削除するかどうかを設定し、[OK] ボタンをクリックする。
ネットワークパスをベースパスとする場合は、[ベースパスを新規追加] ダイアログで [参照] ボタンをクリックしたあと、「ネットワークパスを追加する」の手順に従ってください。

ベースパスの設定内容を編集するには

ベースパスを選択して、[編集] ボタンをクリックします。

ベースパスを削除するには

ベースパスを選択して、[削除] ボタンをクリックします。

監視フォルダー (File Manager モードのみ)

ファイルが新しく作成されたときに自動的にアーカイブを行う監視フォルダーを設定します。

詳しくは、「フォルダーを監視してアーカイブする」をご覧ください。

ご注意

- 監視フォルダーに保存したファイルは、アーカイブ後自動的に削除されます。ただし、監視フォルダーに作成されたフォルダーは自動では削除されませんので、必要に応じて Explorer などを使って削除してください。
- 読み取り専用ファイルは、監視フォルダー機能ではアーカイブされません。

カートリッジ名

新しいカートリッジが登録されたときにカートリッジの名称の先頭に付ける文字列を指定します。カートリッジの名称は、「指定した文字列+連番」になります。

メンテナンスページ

本ソフトウェアのメンテナンスについての設定を行います。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

File Manager モードの場合

メンテナンス このページでは、システムのメンテナンスに必要な操作が行えます。

サービスの終了と起動

☒ すべてのジョブが終了後、サービスを終了する。
☐ "スタンバイ及び実行中" のジョブが終了後、サービスを終了する。

終了 **メンテナンス開始**

状態 ☒ 自動更新

サービスリクエスト状態	システム状態	実行待ちと実行中のジョブ	実行中のジョブ
リクエストなし	動作中	0	0

ログ取得

開始日 *

終了日 * **出力**

File Server モードの場合

メンテナンス このページでは、システムのメンテナンスに必要な操作が行えます。

サービスの終了と起動

☒ 自動更新

状態切替リクエスト	システム状態	実行待ちと実行中のジョブ	実行中のジョブ
リクエストなし	動作中	0	0

終了 **メンテナンス開始**

ログ取得

開始日 *

終了日 * **出力**

サービスの終了と起動（File Manager モードの場合）

本ソフトウェアのサービスを終了または起動します。サービスを終了する場合は、キューにあるすべてのジョブが終了してからサービスを終了するか、スタンバイおよび実行中のジョブが終了したときにサービスを終了するかを選択できます。

サービスを停止するには

1. [状態] の [システム状態] 欄に「動作中」と表示されていることを確認する。
2. [すべてのジョブが終了後、サービスを終了する]、[「スタンバイ及び実行中」のジョブが終了後、サービスを終了する] のどちらかを選択する。
3. [終了] ボタンをクリックする。
サービスが停止すると、[状態] の [システム状態] 欄の表示が「スタンバイ」に変わります。

サービスを起動するには

1. [状態] の [システム状態] 欄に「スタンバイ」と表示されていることを確認する。
2. [起動] ボタンをクリックする。（サービスが終了しているときは [終了] ボタンが [起動] に変わります）

サービスが起動すると、[状態] の [システム状態] 欄の表示が「動作中」に変わります。
サービスの終了 / 起動をキャンセルするには、[キャンセル] ボタンをクリックします。

ご注意

Optical Disc Archive Filer が起動している場合は、本ソフトウェアのサービスを起動できません。

状態

サービスの状態を表示します。

- サービスリクエスト状態：サービスに対するリクエストの状況を表示します。
- システム状態：システムの実行状態を表示します。
 - 動作中：正常動作中
 - スタンバイ：スタンバイ中
 - サスペンド：I/E トレイがオープンしている
 - 失敗：エラーが発生していて、動作していない
 - 準備中：動作していない
- 実行待ちと実行中のジョブ：キューに登録されているジョブと実行中のジョブの数を表示します。
- 実行中のジョブ：実行中のジョブの数を表示します。

サービスの終了と起動（File Server モードの場合）

本ソフトウェアのサービスを終了または起動します。

メンテナンスモードでは、仮想ボリュームがアンマウントされます。仮想ボリュームを使用するアプリケーションは停止させてください。

サービスを終了するには

1. [状態] の [システム状態] 欄に「動作中」と表示されていることを確認する。
2. [終了] ボタンをクリックする。

仮想ボリュームがアンマウントされ、実行中およびスタンバイのジョブが完了するのを待ってからサービスが終了されます。実行中 / スタンバイ以外のジョブはキャンセルされます。

サービスが停止すると、[状態] の [システム状態] 欄の表示が「停止中」に変わります。

サービスを起動するには

1. [状態] の [システム状態] 欄に「停止中」と表示されていることを確認する。
 2. [起動] ボタンをクリックする。（サービスが終了しているときは [終了] ボタンが [起動] に変わります）
- サービスが起動すると、[状態] の [システム状態] 欄の表示が「動作中」に変わります。

ご注意

Optical Disc Archive Filer が起動している場合は、本ソフトウェアのサービスを起動できません。

状態

サービスの状態を表示します。

- 状態切替リクエスト：サービスに対するリクエストの状態を表示します。
- システム状態：現在のシステムの状態を表示します。
 - 動作中
 - 停止中
 - メンテナンス中
 - 異常

- 実行待ちと実行中のジョブ：キューに登録されているジョブと実行中のジョブの数を表示します。
- 実行中のジョブ：実行中のジョブの数を表示します。

【終了】 / 【起動】 ボタン

サービスを終了または起動します。システムの状態によって、ボタンの表示が変わります。

【メンテナンス開始】 / 【メンテナンス終了】 ボタン

データベースやドライブ、カートリッジなどの設定を変更するためにメンテナンスモードを開始します。また、メンテナンスモードを終了します。システムの状態によってボタンの表示が変わります。

ログ取得

File Manager のログをコンピューターに保存します。

保存するログの開始日と終了日を指定して、[出力] ボタンをクリックします。

通知ページ

通知メールを送信するための設定を行います。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

メール通知の設定をすると、[個人設定] ページまたは [ユーザー] ページでメール通知の設定をしたユーザーに、次の通知メールが送られます。

- アーカイブ / リトリブ完了の通知
- アーカイブ / リトリブ失敗の通知
- 新規アカウント作成時 / パスワード変更時の新規パスワード通知
- パスワードの再発行通知

下記の項目を設定します。

- ポート番号
- SMTP サーバー
- セキュリティで保護された接続が必要：チェックした場合は、保護のタイプを選択する。
- SMTP 認証を行う

- アカウント：メールサーバーのアカウントを入力する。
- パスワード：メールサーバーのパスワードを入力する。
- 送信メールアドレス：通知メールの送信元となるメールアドレスを入力する。

「設定例を入力する」ボタンをクリックすると、例として Gmail の設定値が入力されます。設定の参考にしてください。

ファイルサーバーページ (File Server モードのみ)

ファイルサーバーの仮想ボリューム名とキャッシュの設定を行います。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

ご注意

ファイルサーバーの設定は、メンテナンスモード時のみ操作できます。

ファイルサーバー

このページでは、ファイルサーバーの設定が行えます。

仮想ボリューム設定

ドライブ文字

W:

ボリューム名

ODAFileServer

保存

キャッシュ設定

キャッシュフォルダー

C:/FSCache

参照

キャッシュ容量

11

GB

割り当て可能範囲: 1 - 12000 GB

保存

詳細設定

設定テンプレート

カスタム

同期単位

ファイル

カートリッジ

同期開始までの時間

11

秒

割り当て可能範囲: 1 - 604800 秒

追加の同期する条件

同期を開始していないファイルの総サイズが(A)GBを超え、かつ書き込みが(B)秒間なかったら同期します。

ファイルサイズ (A)

1

GB

割り当て可能範囲: 1 - 5000 GB

時間 (B)

1

秒

割り当て可能範囲: 1 - 86400 秒

テンプレート専用設定

SmartDocs

スキャン用キャッシュ容量

0

GB

割り当て可能範囲: 0 - 5000 GB

キャッシュクリア

保存

仮想ボリューム設定

仮想ボリュームのドライブ文字とドライブ名を設定します。設定後、[保存] ボタンをクリックしてください。

ドライブ文字

プルダウンメニューからドライブ文字を選択します。

ボリューム名

ボリュームの名称を入力します。

キャッシュ設定

キャッシュフォルダー

キャッシュとして使用するフォルダーを指定します。

キャッシュ容量

キャッシュの容量の上限を指定します。容量は、キャッシュフォルダーがあるボリュームの残容量以下にしてください。

詳細設定

設定テンプレート

ファイルサーバー設定の際に、上位アプリケーションに合わせた設定のテンプレートを使用できます。テンプレートを 사용하지 ない場合は、[カスタム] を選択します。

同期単位

キャッシュからカートリッジへと書き込む同期処理をファイル単位で登録するか、カートリッジ単位で登録するかを設定します。

- [ファイル単位]: ファイルが最後に更新されてから経過した時間をファイルごとに管理し、その数値が [同期までの時間] を上回ると、そのファイルを同期するためのアーカイブジョブが登録されます。
- [カートリッジ単位]: ファイルが最後に更新されてから経過した時間をカートリッジごとに管理し、その数値が [同期までの時間] を上回ると、更新されたファイルを同期するためのアーカイブジョブがまとめて登録されます。

同期までの時間

仮想ボリュームにファイルを書き込み終えてから、あるいは最後に更新されてから、キャッシュ上のファイルをカートリッジに同期するまでの時間を設定します。

追加の同期する条件

この設定は同期単位がカートリッジ単位の時のみ有効です。この設定をオンにすると、「同期までの時間」に基づいてアーカイブジョブを登録する通常の条件に加えて、更新されるファイルサイズの総量に応じて早く同期を実施することができるようになります。

同期を開始していないファイルの総サイズが [ファイルサイズ (A)] で設定した値を超え、かつファイルの書き込みや更新がないまま [時間 (B)] で設定した時間が経過した場合に、同期のためのアーカイブジョブを登録します。

テンプレート専用設定

ここでは設定テンプレート固有の設定を行います。

SmartDocs

スキャン用キャッシュ容量

SmartDocs のスキャン機能で使用するキャッシュ容量を設定します。[キャッシュ設定] の [キャッシュ容量] とは独立した容量が、同じボリュームに予約されます。

[キャッシュクリア] ボタン

スキャン用キャッシュ容量の中のファイルを削除し、使用されている領域を解放します。

データベースページ

本ソフトウェアのデータベースについての設定を行います。
このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

データベース

このページでは、データベースの保守に関する設定が行えます。

データベースのバックアップと復元

バックアップスケジュール

自動更新

開始時間	曜日	出力フォルダー	保存ファイルの最大数
00:00:00	月火水木金	C:/ProgramData/Sony/ODSFileManager/DBBackup	10

設定

削除

バックアップの最終日時	出力ファイル	メッセージ
2018-08-09 10:36:35	ContentManager_Version 0.2 (0.2.0.106)_20180809103635.zip	

マニュアルバックアップ

データベースの復元

バックアップファイル

メッセージ

復元

データベースのクリーンアップ

完了ジョブの削除

開始時間 (毎日)	クリーンアップ期間 (何日前まで)	クリーンアップの最終日時
00:00:00	5	2018-08-09 10:36:38

設定

削除

データベースのバックアップと復元

データベースのバックアップと復元を行います。

バックアップの実行方法は、スケジュールを指定した定期的なバックアップと、[マニュアルバックアップ] ボタンをクリックしての即時バックアップがあります。

データベースの復元を行うと、バックアップした時点の状態にデータベースを戻すことができます。

バックアップスケジュール

設定済みのバックアップスケジュールを表示します。

バックアップのスケジュールを設定するには

1. [設定] ボタンをクリックする。
[バックアップスケジュールの設定] ダイアログが表示されます。
2. ダイアログでスケジュールを設定し、[OK] ボタンをクリックする。
 - 開始時間：バックアップを開始する時刻を指定します。
 - 曜日：バックアップを行う曜日を指定します（複数選択可）。
 - 出力フォルダー：出力フォルダーを選択します。
 - 保存ファイルの最大数：過去のバックアップファイルを最大いくつまで保存しておくかを指定します。

スケジュールを削除するには、[削除] ボタンをクリックします。

ご注意

バックアップスケジュールを設定する場合は、出力フォルダーにネットワークパスを選択できません。

バックアップ状態表示

前回実行したバックアップについて次の情報を表示します。

- バックアップの最終日時
- 出力ファイル
- メッセージ

【マニュアルバックアップ】 ボタン

バックアップを即時実行します。

クリックすると、バックアップ先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。バックアップスケジュールでバックアップしたファイルとは別のフォルダーを指定すると、バックアップが自動で削除されることがありません。

ネットワークパスにバックアップする場合は、[参照] ボタンをクリックして、「ネットワークパスを追加する」の手順に従ってください。

データベースの復元

- バックアップファイル
- メッセージ

【復元】 ボタン

データベースを復元します。[復元] ダイアログで、バックアップファイルを選択します。

ご注意

File Server モードの場合、データベースの復元はメンテナンスモード時のみ操作できます。

完了ジョブの削除

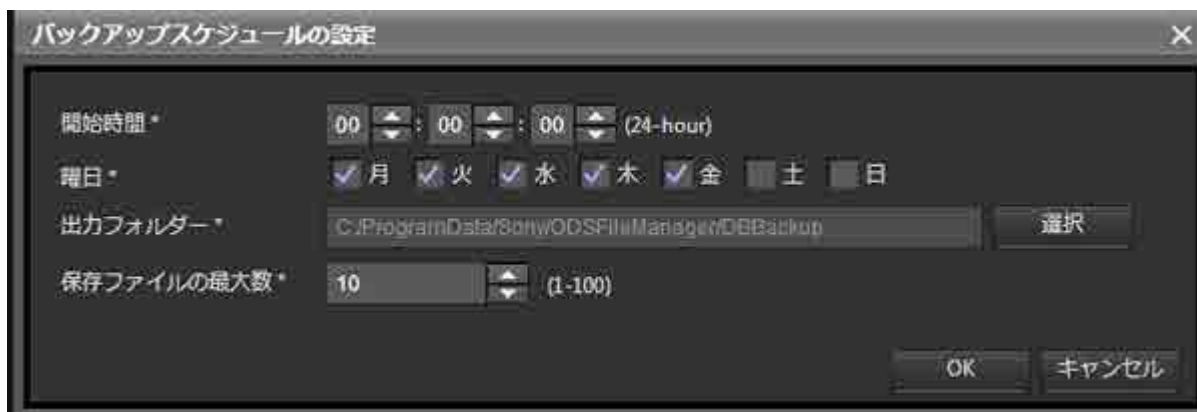
処理が完了したジョブは、完了から一定期間後に自動的に削除されます。

- 開始時間：完了ジョブを削除する日時を表示します。
- クリーンアップ期間：ジョブの完了から削除までの日数を表示します。
- クリーンアップの最終日時：前回完了ジョブを削除した日時を表示します。

完了ジョブ削除のスケジュールを設定するには、[設定] ボタンをクリックして、ダイアログを表示します。

バックアップスケジュールの設定 / データベースクリーンアップの設定ダイアログ

データベースをバックアップ / クリーンアップするスケジュールを設定します。



開始時間

バックアップ / クリーンアップを開始する時刻を指定します。

曜日（[バックアップスケジュールの設定] ダイアログのみ）

バックアップを行う曜日を指定します（複数選択可）。

出力フォルダー（[バックアップスケジュールの設定] ダイアログのみ）

バックアップファイルを出力するフォルダーを選択します。

保存ファイルの最大数（[バックアップスケジュールの設定] ダイアログのみ）

過去のバックアップファイルを最大いくつまで保存しておくかを指定します。

クリーンアップ期間（[データベースクリーンアップの設定] ダイアログのみ）

何日前までのデータをクリーンアップするかを指定します。

付録

本セクションでは、次の事項について記載しています。

- ご注意
- 商標について

ご注意

権利者の許諾を得ることなく、付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および付属のソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

© 2018 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い兼ねます。

このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- Microsoft、および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Finder および macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- SmartDocs は Teknowmics Co. Inc. の商標または登録商標です。
- Arcserve Backup は Arcserve またはその子会社の登録商標または商標です。
- Veritas、Backup Exec、および NetBackup は米国およびその他の国における Veritas Technologies LLC またはその関連会社の登録商標です。
- Commvault は Commvault Systems, Inc. の商標または登録商標です。
- IBM、および IBM Spectrum は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。

本書に記載されているシステム名、製品名、会社名は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では、®、™ マークは明記していません。